

らくらくスマートフォン

ISSUE DATE:

'12.7

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:



このたびは「らくらくスマートフォン F-12D」を
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

かんたん操作ガイドは、初歩的な知識や操作のみを、簡単な表現でわかりやすく説明しています。また、らくらくスマートフォンをはじめてお使いになる方に基本的な操作を教える場合にもご利用いただけます。

F-12Dの説明書は、『かんたん操作ガイド』（本書）と『らくらくスマートフォンをお使いになる前に』の2冊で構成されています。



機能の概要や操作は、F-12Dに搭載されている「どこでもヘルプ」および「使いかたガイド」で調べることができます。これらの機能については、本書 p.54、p.94「使いかたを調べよう」をご覧ください。

ご使用にあたって

事故やけが、また、本機の故障や破損を防ぐため、『らくらくスマートフォンをお使いになる前に』p.3「安全上のご注意」およびp.8「取り扱い上のご注意」に書かれている事項を守ってください。

また、F-12Dは防水／防塵性能を有していますが、完全な防水／防塵というわけではありません。使いかたや洗いかたにも防水／防塵性能を維持するためのルールがあります。

右記のほかにも守っていただかなければならない事項があります。『らくらくスマートフォンをお使いになる前に』p.12「防水／防塵性能」をよく読んでから、お使いください。

例



石鹸／洗剤／
入浴剤をつける



ブラシ／
スポンジで洗う



洗濯機で
洗う



強すぎる水流を
当てる



温泉で使う



海水につける*

※万が一、かかった場合には、洗い流してください。

本書の見かた

- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
- 複数の操作方法があるときは、代表的な操作をひとつだけ記載しています。
- 本書はらくらくタッチが[プレス確定／振動標準]または[プレス確定／振動強]の場合で説明しています。
- 本書の基本編は「標準メニュー」「シンプルメニュー」共通の基本操作を説明しています。説明は「標準メニュー」の画面を使用しています。画面によってはマークのデザインや位置が異なる場合があります。
- シンプルメニューのメニュー項目はリストにしている場合で説明しています。タイルに設定したときは、メニュー項目名が本書での記載と異なるものがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

マナーについて

携帯電話は外出先でも連絡が取れる、たいへん便利な道具です。しかし、使ってはいけないところや電源を切らなければいけないところもあります。まわりの人に迷惑をかけないように気配りして、気持ちよく安全に使いましょう。

電源を切る

携帯電話は電源を入れておくだけで、常に弱い電波が出ています。その電波が悪影響を及ぼすおそれがあるところでは、必ず電源を切りましょう。

- ※ 航空機内での使用は法律で禁止されています。
- ※ 満員電車などの混雑したところでは、近くに心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。



使用を控える

静かにしなければならない公共の場では、着信音などに気を配ることはもちろん、携帯電話から漏れる光もまわりの人の迷惑になることがあるので気をつけましょう。また、自動車などを運転中に使用しないでください。

- ※ 運転中の使用は法律で禁止されています。安全なところに停車してから、使用しましょう。



通話を控える

乗り物の中や人が多く集まる場所では、人の話し声がとても気になります。通話はもちろん、着信音も鳴らないように設定しましょう。



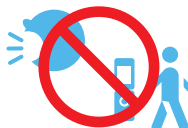
カメラのご使用にあたって

携帯電話のカメラはたいへん楽しい機能です。しかし、撮影が禁止または制限されている場所があります。撮影を行う際は、著作権などの知的財産権、肖像権、プライバシー権などの他人の権利を侵害しないよう十分に配慮しましょう。



こんなことにも

つい通話やメールに夢中になり、知らず知らずのうちにまわりに迷惑をかけたり、通行の妨げになったりすることがあります。気配りを忘れずに使用しましょう。



目次

ご使用にあたって.....	表紙裏
本書の見かた	表紙裏
マナーについて	1

基本編

「標準メニュー」「シンプルメニュー」
共通の基本操作方法を説明しています。

■ ご使用になる前に.....	6
各部の名前を覚えよう.....	6
電源の入れかた／切りかた.....	9
メニューについて	10
タッチパネルの使いかたを覚えよう	12
■ 初期設定をしよう.....	14
■ 本機から鳴る音を消そう	17
マナーモードに設定する	17
公共モード(ドライブモード)に設定する.....	18
■ 文字入力を覚えよう	19
文字を入力しよう	20



標準メニュー編



お買い上げ時に設定されている「標準メニュー」での操作方法を説明しています。

■ ホーム画面の見かたを覚えよう	24
■ 自分の電話番号やメールアドレスを確認しよう	26
■ 電話を使おう	27
電話を受けるには？	27
電話をかけるには？	28
■ 電話帳に登録しよう	29
電話番号とメールアドレスの登録のしかた	29
電話帳を使って電話をかける	32
ワンタッチダイヤルの登録のしかた	33
ワンタッチダイヤルを使う	35
■ メールを使おう	36
メールを送る	36
届いたメールを読む	39
届いたメールに返信する	41
■ 音の設定をしよう	43
本機から鳴る音を覚えよう	43
電話がかかってきたときに鳴る音を変えるには	44
■ カメラを使おう	46
カメラ機能でできること	46
写真を撮って保存する	48
ビデオを撮って保存する	49
撮った写真を見る	50
撮った写真をトップ画面に設定する	51
■ テレビ(ワンセグ)を楽しもう	52
テレビを見る	53
■ 使いかたを調べよう	54
「どこでもヘルプ」で機能の概要を知るには	54
「使いかたガイド」を使う	55



シンプルメニュー編

「シンプルメニュー」にしているときの
操作方法を説明しています。

■ 待受画面の見かたを覚えよう	57
■ 自分の電話番号やメールアドレスを確認しよう	59
■ 電話を使おう	60
電話を受けるには？	60
電話をかけるには？	61
■ 電話帳に登録しよう	62
電話番号とメールアドレスの登録のしかた	63
電話帳を使って電話をかける	68
ワンタッチダイヤルの登録のしかた	69
ワンタッチダイヤルを使う	71
■ メールを使おう	72
メールを送る	73
届いたメールを読む	78
届いたメールに返信する	80
■ 音の設定をしよう	84
電話がかかってきたときに鳴る音を変えるには	84
■ カメラを使おう	87
写真を撮って保存する	87
ビデオを撮って保存する	88
撮った写真を見る	89
撮った写真をトップ画面に設定する	91
■ テレビ(ワンセグ)を楽しもう	93
テレビを見る	93
■ 使いかたを調べよう	94
「どこでもヘルプ」で機能の概要を知るには	94
「使いかたガイド」を使う	95

他にもこんな機能があります..... 96

こんなときはこうしよう！Q&A 101



■ ご使用になる前に

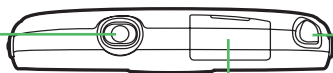
各部の名前を覚えよう

本書内で使用している主な名称と役割を説明します。その他の名称や役割については、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「各部の名称と機能」をご覧ください。

（上部）

ステレオイヤホン端子(防水)

イヤホンを接続するときに使います。



ワンセグアンテナ

テレビ(ワンセグ)を視聴するときに伸ばして使用します。

外部接続端子

ACアダプタを使って充電するときなどに使います。

（正面）

受話口

相手の声が聞こえます。

RGBセンサー

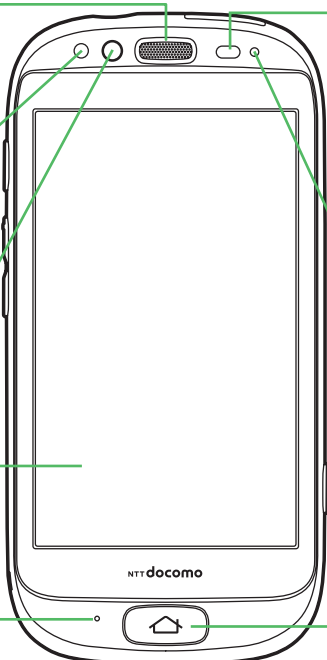
周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節します。ふさがないでください。

内側カメラ

ディスプレイ (タッチパネル)

送話口／マイク

自分の声を相手に伝えます。ふさがないでください。



近接センサー

通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。保護シートやシールなどを貼り付けないでください。

お知らせランプ／ 着信ランプ

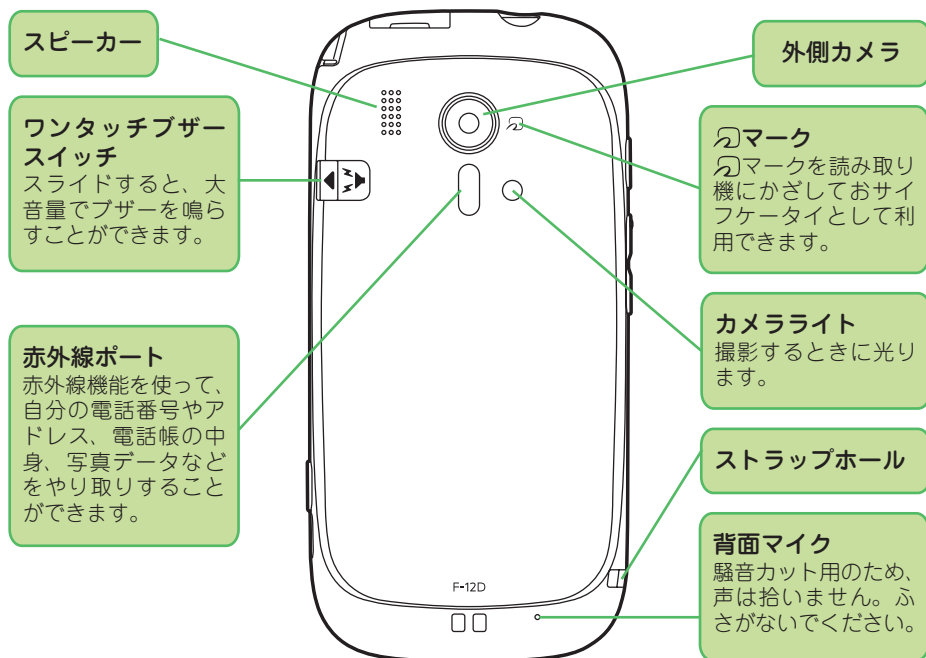
電話がかかってきたり、メールを受信したりすると光ります。

ホームボタン

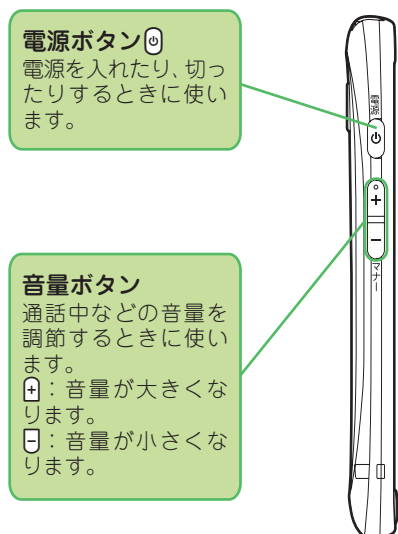


ホーム画面／待受画面に戻るときに使います。

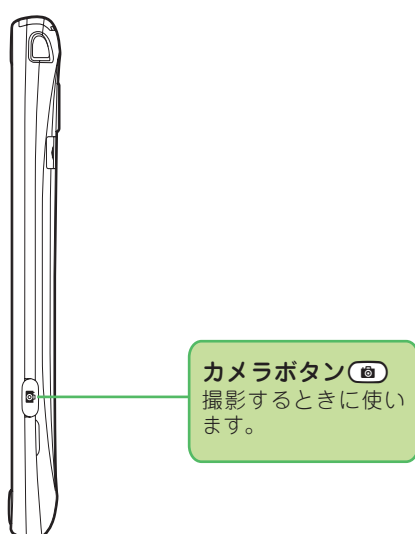
背面



左側面



右側面

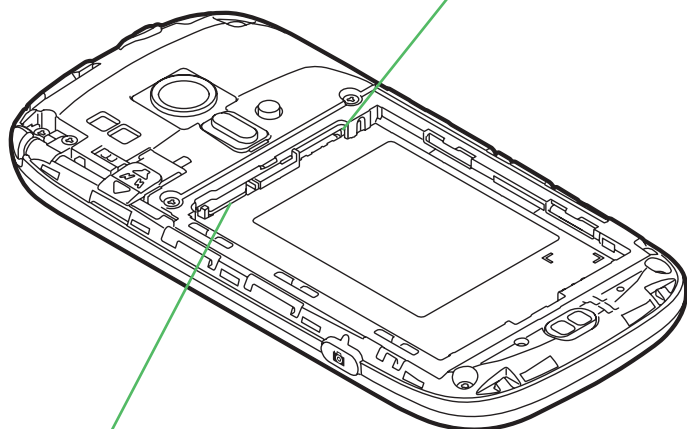


（背面（内部））

microSD（マイクロエスディ） カードスロット

microSDカードを差し込むところ
です。

microSDカードを軽く押し込んで
離すと、取り外すことができます。



ドコモminiUIM（ミニユーアイ エム）カードスロット

ドコモminiUIMカードを差し込む
ところです。

取り外すときは、トレイを引き出
します。

電源の入れかた／切りかた

電話をかけたり、メールを送信したりするときはもちろん、電話を受けたり、メールを受け取ったりするためにも、電源は常に入れておく必要があります。ただし、電源を切らなければならない場所もあるので、注意しましょう。

電源の入れかた

- ① **⓪ ボタン**を押し続ける
- ② **お知らせランプが緑色に点灯し、本機が振動したら、⓪ ボタンから指を離す**

起動画面が表示された後にトップ画面が表示されます。

● トップ画面には誤操作を防止する役割があります。



- ③ **トップ画面で下から上にスライドする**

ホーム画面／待受画面が表示されます。

● はじめて電源を入れたときなど初期設定が終了していない場合には、ホーム画面／待受画面は表示されずに初期設定画面が表示されます。初期設定については、本書p.14「初期設定をしよう」をご覧ください。

電源の切りかた

- ① **⓪ ボタン**を押し続ける
- ② **携帯電話オプションメニュー画面が表示されたら、⓪ ボタンから指を離す**



- ③ **[電源を切る]をプレスする**

電源を切る旨のメッセージが表示されます。

- ④ **OK をプレスする**

メニューについて

本機には「標準メニュー」と「シンプルメニュー」が用意されており、ホーム画面などもそれぞれ異なります。

また、選んだメニューによって、操作方法が異なる機能があります。

2種類のメニューの違い

「標準メニュー」と「シンプルメニュー」それぞれのメニューの特徴を紹介します。
お買い上げ時には、「標準メニュー」が設定されています。

標準メニュー

ステータス表示 エリア

電池残量や電波状態がわかるアイコンなどが表示されます。

新着通知

メールの受信や電話の不在着信などが表示されます。



<ホーム画面>

タッチパネルをはじめて使う方におすすめするメニューです。
ホーム画面はカラフルで、機能がマークで表現されています。

標準メニューのホーム画面の見かたについては、本書p.24「ホーム画面の見かたを覚えよう」をご覧ください。

シンプルメニュー

ステータスバー

新着通知



<待受画面>

しっかりと文字を読みながら操作できるメニューです。
いままでらくらくホンをお使いだった方が親しみやすいつくりになっています。

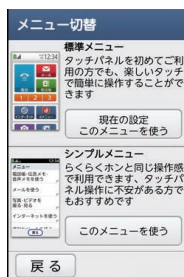
シンプルメニューの待受画面の見かたについては、本書p.57「待受画面の見かたを覚えよう」をご覧ください。

メニューの切り替えかた

標準メニューからシンプルメニューに切り替えるには

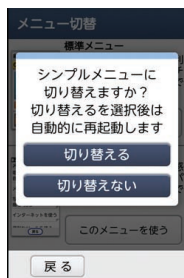
- ① ホーム画面で[設定]をプレスする
- ② [その他]をプレスする
- ③ [メニュー切替]をプレスする

メニューの選択画面が表示されます。



- ④ [このメニューを使う]をプレスする

シンプルメニューに切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。



- ⑤ [切り替える]をプレスする

自動的に再起動し、シンプルメニューの待受画面が表示されます。

シンプルメニューから標準メニューに切り替えるには

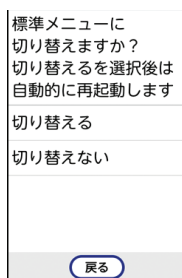
- ① 待受画面で(メニュー)をプレスする
- ② [設定を行う]をプレスする
- ③ [その他の設定を行う]をプレスする
- ④ [メニュー切替を行う]をプレスする

メニューの選択画面が表示されます。



- ⑤ [このメニューを使う]をプレスする

標準メニューに切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。



- ⑥ [切り替える]をプレスする

自動的に再起動し、標準メニューのホーム画面が表示されます。

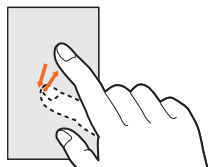
タッチパネルの使いかたを覚えよう

本機のディスプレイは直接指で触れて操作できるタッチパネルになっています。

行いたい操作によって、指の動かしかたが異なります。

タッチパネルは強い力で押ししたり、先の尖ったもの(爪やペン、ピンなど)を押し付けたりせず、指の腹で軽く触れて操作してください。そのほかの注意事項については、本機に搭載されている「使いかたガイド」でご確認ください。

■ プレス



ボタンを押すように、画面をしっかりと押します。

項目を選んだり、操作を決定したりするときの操作です。

- 画面を長めに押す操作を「ロングプレス」といいます。
- らくらくタッチの設定が「タッチ確定／振動なし」の場合は、画面に軽く触れてから離します(タッチ)。画面から指を離れた時点で操作が有効になります。



らくらくタッチパネル

本機のタッチパネルは、指で軽く触れた瞬間に触った部分の色や枠が変化し、さらにしっかりと押し込んだ(プレス)ときに振動が指先に伝わるようになっています。このようにタッチパネルの押し込み具合を検知することで、初めてタッチパネルを使う方でも確実に操作することができます。



軽く触れると色や枠が変化

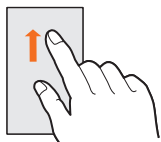


しっかりと押し込むと振動

- 触れた部分の色が変わらず振動のみする場合や、振動する設定にしているにもかかわらず振動しない場合など、アプリケーションによっては、らくらくタッチの設定に従って動作しない場合があります。

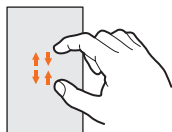
らくらくタッチの設定については、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「タッチ／プレス操作」の「らくらくタッチ」をご覧ください。

■ スライド(スワイプ)



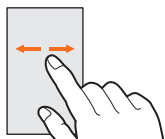
画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。
画面をスクロールするときなどに行う操作です。

■ ピンチ



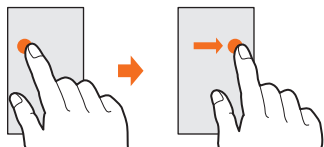
画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり(ピンチアウト)、狭くしたり(ピンチイン)します。
画面の表示を拡大したり、縮小したりするときに行う操作です。

■ フリック



画面に触れた指をすばやく払います。
画面内のページや項目を次へ移動する操作です。

■ ドラッグ



画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。
指を離すと、移動が完了します。

初期設定をしよう

はじめて本機の電源を入れたときに初期設定画面が表示されたら、次の手順で初期設定を行います。

携帯電話を使う前の準備を始める画面で「次へ」をプレスする

自分から設定の画面が表示されます。

- ドコモminiUIMカードが取り付けられていない場合は、日付と時刻を入力する画面が表示されます。

自分から設定を行う

生年月日や性別などの基本情報を入力します。健康系アプリケーションを使用する際にこの基本情報を使い、正確な計測に役立てます。

- ① 「次へ」をプレスする
- ② 基本情報を入力する

(1) 誕生日を入力する (2) 性別を選ぶ (3) 身長を入力する (4) 体重を入力する



誕生日、身長、体重の入力画面では、▲▼やテキストボックスをプレスすると数字を編集することができます。

(1)～(4)の入力が終了すると、歩数計の利用を開始した旨のメッセージが表示されます。

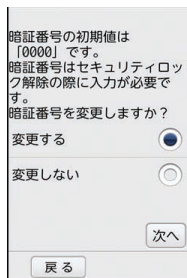
- ③ OK をプレスする

暗証番号を変更するかどうかの確認画面が表示されます。

暗証番号

お買い上げ時には、セキュリティを解除するための暗証番号は「0000」に設定されています。暗証番号を変更する場合は、他人にわかりやすい番号は避けましょう。

[変更する]または[変更しない]を選んで「次へ」をプレスする



変更する：新しい暗証番号に変更することができます。暗証番号の変更方法は次のとおりです。

- ① 「0000」と入力して「次へ」をプレスする
- ② 新しい暗証番号を入力して「次へ」をプレスする
- ③ 確認のため新しい暗証番号を再度入力して「次へ」をプレスする
- ④ 「OK」をプレスする

変更しない：暗証番号は「0000」のままです。

ワンタッチブザーを有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

ワンタッチブザーの設定

ワンタッチブザーを有効にすると、緊急時にワンタッチ操作で大音量のブザーを鳴らすことができます。マナーモード中でもブザーは鳴ります。

① [有効にする]または[無効にする]を選んで「次へ」をプレスする

有効にしたまたは解除した旨のメッセージが表示されます。

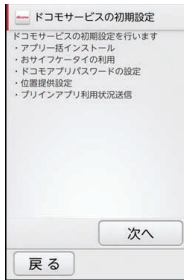
② 「OK」をプレスする

ソフトウェア更新機能の確認画面で「OK」をプレスする

ドコモサービスの初期設定画面が表示されます。

ドコモサービスの初期設定

ドコモサービスの初期設定をそれぞれの画面の案内に従って行う



アプリ一括インストール：ご契約中のドコモサービスに必要なアプリケーションを一括でインストールします。

おサイフケータイの利用：おサイフケータイを利用するための初期設定を行います。

ドコモアプリパスワードの設定：赤外線送受信、SDカードバックアップ、ドコモバックアップ、ドコモ位置情報の機能を利用するときに必要なドコモアプリパスワードを設定します。

お買い上げ時には「0000」になっています。

位置提供設定：位置検索の要求を受信したときの動作を設定します。

プラインアプリ利用状況送信：プラインインストールアプリの利用状況を定期的に送信するかどうかの設定を行います。



ホーム画面が表示される

■ 本機から鳴る音を消そう

電話の着信やメールの受信などが音で区別できるのはとても便利ですが、外出先ではまわりの迷惑にならないようにこころがけることが大切です。

場所や状況に合わせて、本機から鳴る音を消したり、電話をかけてきた相手に運転中であることを知らせるメッセージが流れたりするように設定しましょう。


マナーモードに設定する

マナーモードを設定すれば、本機から鳴る音を消すことができます。音を消しても本機が振動して、電話の着信やメールの受信などを知ることができます。

設定のしかた

 ボタンを1秒以上押して、
OK をプレスする




マナーモードを設定すると、ステータス表示エリアにが表示されます。

解除のしかた

 ボタンを1秒以上押して、
OK をプレスする



マナーモードを解除すると、ステータス表示エリアに表示されていたが表示されなくなります。

マナーモードを設定しても、シャッター音、写真撮影のオートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は消すことができません。

また、マナーモードに設定していても、お買い上げ時にはエリアメール「緊急速報」を受信したときは、受信音が鳴るように設定されています。

公共モード(ドライブモード)に設定する

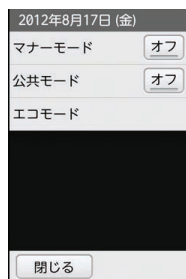
自動車や自転車を運転中に携帯電話を手に持って使用することは、罰則の対象になります。

公共モード(ドライブモード)を設定すれば、電話をかけてきた相手に運転中であることを知らせるメッセージが流れるように設定することができます。

ホーム画面でステータス表示エリアをプレスする

通知画面が表示されます。

オンまたは**オフ**で設定の状態がわかります。



オフをプレスする

公共モード(ドライブモード)が設定されて、**オン**に変わります。

公共モード(ドライブモード)を設定すると、ステータス表示エリアに🚗が表示されます。

- **オン**をプレスすると、公共モード(ドライブモード)を解除することができます。公共モード(ドライブモード)を解除すると、ステータス表示エリアに表示されていた🚗が表示されなくなります。

閉じるをプレスする

ヒント 通知画面でマナーモードを設定するには

公共モード(ドライブモード)と同じように、マナーモードも通知画面で設定することができます。

「マナーモード」の横にある**オン**または**オフ**をプレスするだけで設定／解除を行うことができます。

電源を切る必要のあるところでは、マナーモードではなく、「公共モード(電源OFF)」をご利用ください。

公共モード(電源OFF)の設定については、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「電話の設定」をご覧ください。

文字入力を覚えよう

文字入力には面倒な印象がありますが、ルールさえ覚えてしまえば決して難しくはありません。ここには文字入力の基本的なルールをまとめています。

ここでは、メールの件名入力画面を例に、テンキーボードを使って文字を入力する方法を説明しています。

カーソルを左に移動する

左に連続移動するには、ロングプレスします。

カーソルを右に移動する

右に連続移動するには、ロングプレスします。

音声文字入力画面に切り替える

本機に向かって話したことはそのまま文字として入力できる画面が表示されます。

文字を消す

消える文字はカーソルの位置やアイコンを押す長さで変わります。

機能メニューを表示する

機能メニューで入力モードの切り替えや記号・絵文字・顔文字の入力などを行うことができます。

文字を入力する

改行する



文字入力を開始したり、文字の入力モードを切り替えたりすると、表示とその役割が変わるアイコンがあります。



手書きキーボードを使う

手書きキーボードに切り替えると、画面に直接文字を書く画面が表示されます。手書きキーボードでは、テンキーキーボードと比べて直感的な操作で文字入力が可能です。

手書きキーボードを使った文字の入力方法については、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「キーボードの使いかた」をご覧ください。



手書き入力エリア

ここに文字を入力します。

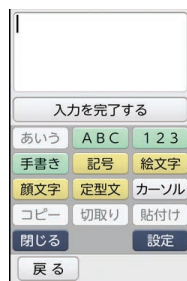
文字を入力しよう

機能メニューでできること

文字を入力するときには、入力したい文字によって入力モードを「ひらがな／漢字」「英字」「数字」と切り替える必要があります。

機能 をプレスすると、入力モードの切り替えや記号・絵文字・顔文字の呼び出しを行うための選択画面(機能メニュー画面)が表示されます。

この選択画面でそれぞれのアイコンをプレスすると、次のことができます。



あいう	ひらがな／漢字が入力できるキーボードが表示されます。
ABC	英字が入力できるキーボードが表示されます。
123	数字が入力できるキーボードが表示されます。
手書き	手書き入力ができる画面が表示されます。
記号	記号一覧が表示されます。記号一覧から記号を選びプレスすると、記号を入力することができます。
絵文字	絵文字一覧が表示されます。絵文字一覧から絵文字を選びプレスすると、絵文字を入力することができます。
顔文字	顔文字一覧が表示されます。顔文字一覧から顔文字を選びプレスすると、顔文字を入力することができます。
定型文	「挨拶・連絡」「ビジネス」など状況に合わせて文章を選ぶことができます。また、ホームページやメールのアドレスの一部も選ぶことができます。
カーソル	カーソルを動かすためのキーボードが表示され、カーソルを上下左右、文頭、文末に移動させることができるようになります。
コピー※	選択した文字列をコピーします。元の文字列はそのまま残ります。
切り取り※	選択した文字列を切り取ります。元の文字列はなくなります。
貼付け※	コピーまたは切り取った文字列を、入力中の文字列に貼り付けます。

※ メール本文入力画面には表示されません。

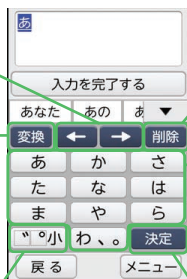
メール本文入力画面では、文字が入力されるエリアをロングプレスして表示されるテキスト操作で文章を選んでからコピー／切り取り／貼り付けの操作を行います。

ひらがな／漢字の入力について

入力したひらがなはカタカナや漢字に変換することができます。



文字入力を開始すると、画面が変化します。



カーソルが左右に移動します。

文字を入力すると変換候補が表示される画面がありますが、その変換候補の中に選びたい単語がないときや変換候補が表示されないときにプレスすると、変換候補が表示されます。

確定していないカーソル上の文字に「°」や「°」を付けたリ、文字を小さくしたりします。

例 つ→っ→づ→つ…
は→ぱ→ぽ→は…

入力した文字を削除します。

プレスするたびに、文字が切り替わります。

例 あ→い→う→え→お→あ
→い→う→え→お→1→
あ…
わ→を→ん→わ→→、
→。→・→?→!→「→」
→(全角空白)→0→わ…

文字を確定します。

英字の入力について



文字入力を開始すると、画面が変化します。



カーソルが左右に移動します。

プレスするたびに、半角記号や数字が切り替わります。

.→/→@→~→-→:→_→[→¥→]→^→`→{→|→}→!→...→

プレスするたびに、大文字と小文字が切り替わります。

a→A→a→...

入力した文字を削除します。

プレスするたびに、文字が切り替わります。

例 a→b→c→A→B→C→2→a→...

文字を確定します。

プレスするたびに、半角記号や数字が切り替わります。

!→"→#→\$→%→&→'→(→)→*→+→,→;→<→=→>→?→(半角空白)→0→!→...

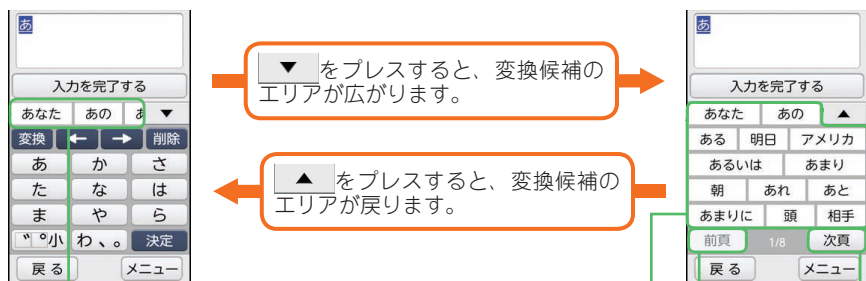
数字の入力について



入力したい数字をプレスすると、そのまま入力されます。

文字の変換について

入力モードが「ひらがな／漢字」「英字」のときに文字の入力を行うと、画面に文字の変換候補が表示されます。



変換候補

変換の候補が表示され、文字を入力するたびに候補が変わります。入力したい文字が表示されたら、プレスします。変換候補がエリアに表示しきれない場合に変換候補のエリアでスクロールすると、違う変換候補が表示されます。

変換候補をページ単位で切り替えることができます。

前頁 をプレスすると前のページに、
次頁 をプレスすると次のページに切り替わります。

入力してみましょう

文字の入力例を紹介します。実際に入力を行ってみましょう。

例 「ろっぽんぎ」と入力

「ろ」: ら を5回

「っ」: た を3回 → っ (小)

「ぼ」: は を5回 → っ (小) を2回

「ん」: わ、。 を3回

「ぎ」: か を2回 → っ (小)

ホーム画面の見かたを覚えよう

次の画面は標準メニューのホーム画面です。表示しきれない部分は、縦方向にスクロールすると表示されます。

ここでは標準メニューのホーム画面の見かたを簡単に説明します。詳しくは本機に搭載されている「使いかたガイド」の「ホーム画面の見かた【標準】」をご覧ください。

1 ステータス表示エリア

2 新着通知

ワンタッチダイヤル
ワンタッチダイヤルに登録した相手に電話をかけたり、メールを送ったりするときに使います。ワンタッチダイヤルの登録のしかたは本書p.33「ワンタッチダイヤルの登録のしかた」をご覧ください。

設定メニューを表示します。設定メニューからは画面や音など、さまざまな設定を行うことができます。


らくらくホンセンター
各種手続き、お問い合わせなどにアドバイザーが直接お答えする「らくらくホンセンター」へ電話をかけます。らくらくホンセンターへの通話料はかかりません。受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）

i チャンネルの情報
i チャンネルで取得した情報が表示されます。プレスすると、さらに詳しい情報を閲覧することができます。

自分(本機)の電話番号を表示します。

本機に搭載されている「使いかたガイド」を起動します。「使いかたガイド」については本書p.55「「使いかたガイド」を使う」をご覧ください。

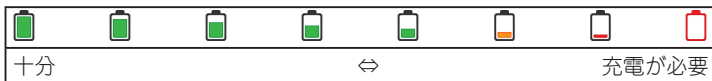
本機に搭載されているアプリケーションをカテゴリごとにまとめています。**開く**をプレスすると、そのカテゴリのアプリケーションのアイコンが表示されます。**閉じる**をプレスすると、元の状態に戻ります。



1 ステータス表示エリア

電池残量や電波など本機の状態がわかる「ステータスアイコン」と、お知らせなどの通知があることがわかる「通知アイコン」が表示されます。

● 電池残量



● 電波の受信状態



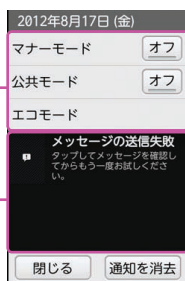
● 通知パネル

ホーム画面に表示されているステータス表示エリアをプレスすると、通知パネルを表示させることができます。

マナーモード、公共モード、エコモードの設定状態を確認できます。設定を変更することもできます。

通知

プレスすると、内容を確認できます。



2 新着通知

メールの受信や電話の不在着信などが表示されます。2種類以上の新着通知がある場合は[新着あり]と表示されます。プレスすると、新着通知の種類を知ることができます。各アプリケーションを起動して確認が終了すると、新着通知は消えます。



複数の新着通知を確認するには



新着通知をプレスする



確認する新着通知をプレスする



新着メールをプレスしたときの例

自分の電話番号やメールアドレスを確認しよう

自分自身の電話番号やメールアドレスは「マイプロフィール」で管理します。電話番号はドコモminiUIMカードごとに決まっていますが、メールアドレスはいつでも自由に変更することができます。

ホーム画面で[自分の電話番号]をプレスする

登録した名前

名前を登録していない場合は、自分の電話番号(自局電話番号)が表示されます。

ここをプレスすると、名前、住所、メモ、誕生日などのプロフィールが登録・修正できます。

自分の電話番号

登録したメールアドレス

赤外線を利用してマイプロフィールを送信することができます。

※ 上の画面は、名前とメールアドレスを1件入力した例です。

住所、メモ、誕生日などを登録すると、画面に表示されるようになります。

確認したら **終了** をプレスする



マイプロフィールを修正するには

登録している内容を変更したり追加したりする方法は、電話帳の修正のしかたと同様です。

電話帳の修正のしかたについては、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「電話帳の編集」をご覧ください。



自分のメールアドレスを確認するには

マイプロフィールにメールアドレスは自動的に表示されません。メールアドレスは、ホーム画面で[メール]→[設定]→[その他]をプレスし、[マイアドレス]で確認できます。

電話を使おう

電話を受けるには？

電話がかかってくると、音や光、ディスプレイなどでお知らせします。

電話がかかってくると…



電話帳に登録している電話番号から電話がかかってきたときは、登録名が表示されます。

電話帳に登録していない電話番号から電話がかかってきたときは、その電話番号が表示されます。

相手が電話番号を通知せずに電話をかけてきた場合には、その理由が表示されます。

電話帳に登録している電話番号から電話がかかってきたときは、その番号が表示されます。

伝言メモを起動したり、着信拒否をしたりする場合には、ここをプレスしてメニューを表示させ、それぞれの動作を選びます。

- ① 相手を確認してから **電話に出る** をプレスする
- ② 受話口を耳にあて、マイクに向かって話す



プレスすると、通話を保留することができます。保留中にプレスすると、通話に戻ることができます。

プレスすると、音声の出力先をスピーカーに切り替えます。

出力先をスピーカーにしているときにプレスすると、受話口からの出力に戻ります。

通話中でも一定時間が経過するとディスプレイの表示が消えます(スリープモード)。再びディスプレイを表示させるには、**Ⓜ**ボタンまたは **⏏** ボタンを押します。

話し終わったら **電話を切る** をプレスして、電話を切る

電話をかけるには？

電話のかけかたにはいくつかありますが、代表的なかけかたを説明します。

ホーム画面で[電話]をプレスする



電話番号を入力

同じ市内にかけるときでも必ず市外局番を入力してください。

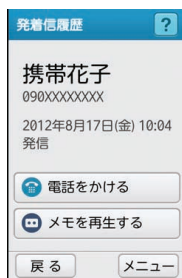
電話番号を入力して、確認する



発着信履歴を利用

電話がかかってくると相手や日時が「着信履歴」として、電話をかけると相手や日時が「発信履歴」として記録されます。

- ① [履歴]をプレスする
- ② 電話をかけたい相手を選ぶ



[電話をかける]をプレスする

話し終わったら **電話を切る** をプレスして、電話を切る

電話帳に登録しよう

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録しておく、それらを毎回入力する必要がなくなり、メモや記憶に頼ることなく連絡が取れるようになります。

また、電話帳に登録した相手から電話がかかってきたときには登録した名前が表示されるので、安心して電話に出ることができます。

電話帳の画面



<電話帳のリスト>

名前をプレスすると、詳細画面が表示されます。



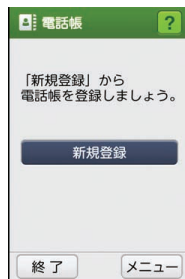
<電話帳の詳細画面>

電話番号とメールアドレスの登録のしかた

1

ホーム画面で[電話帳]をプレスする

電話帳登録を促す画面が表示されます。

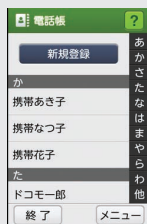


すでに登録されているデータがあるときには

電話帳のリストが表示されます。

リストに登録されているデータは修正ができます。

また、複数の電話番号やメールアドレスを追加することもできます。



2

新規登録 をプレスする

名前の入力画面が表示されます。

- 名前は必ず入力してください。
名前を入力せずに電話帳を登録することはできません。

3

名前を入力したら「次の項目」をプレスする

入力した名前のフリガナの入力画面が表示されます。

- 電話帳のリストの50音順に正しく表示させるため、フリガナは正しく入力してください。

4

フリガナが正しいことを確認して「次の項目」をプレスする

電話番号の入力画面が表示されます。

- 電話番号を入力しない場合は、**省略** をプレスします。

5

電話番号を入力したら「次の項目」をプレスする

メールアドレスの入力画面が表示されます。

- メールアドレスを入力しない場合は、**省略** をプレスします。

6

メールアドレスを入力したら **次の項目** をプレスする

電話帳の編集画面が表示されます。

7

[この内容で登録する]をプレスする

登録した旨のメッセージが表示されます。

8

OK

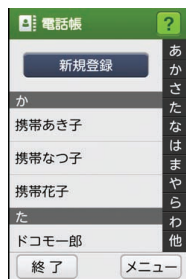
をプレスする

電話帳を使って電話をかける

電話帳に登録したら、電話帳を利用して電話をかけてみましょう。
ここでは、電話帳のリストからの電話のかけかたを説明します。

ホーム画面で[電話帳]をプレスする

電話帳のリストが表示されます。



電話をかける相手を選ぶ

電話帳の詳細画面が表示されます。



[電話をかける]をプレスする

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

- 電話番号が複数登録されている場合は、かける電話番号を選んでプレスします。

電話をかける をプレスする

話し終わったら 電話を切る をプレスして、電話を切る

ワンタッチダイヤルの登録のしかた

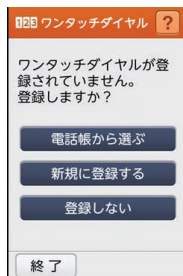
よく連絡を取る相手の電話番号やメールアドレスをワンタッチダイヤルに登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送ったりすることができます。3つのワンタッチダイヤルのそれぞれに、電話番号とメールアドレスを1つずつ登録することができます。

ここでは、電話帳に登録されている相手をワンタッチダイヤルに登録する方法を説明します。

1

ホーム画面でワンタッチダイヤルアイコン(1 ～3)のいずれか1つをプレスする

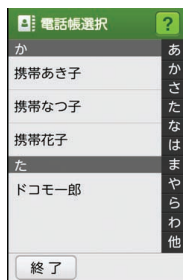
ワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。



2

「電話帳から選ぶ」をプレスする

電話帳のリストが表示されます。

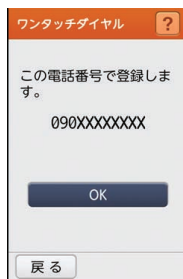


3

登録したい相手を選ぶ

表示されている電話番号に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- 電話番号が複数登録されている場合には、ワンタッチダイヤルに登録する番号の選択画面が表示されます。



4

OK をプレスする

表示されているメールアドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。メールアドレスの登録がない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

- メールアドレスが複数登録されている場合には、ワンタッチダイヤルに登録するアドレスの選択画面が表示されます。



5

OK をプレスする

ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。

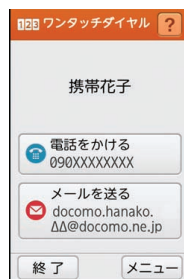


6

OK をプレスする

ワンタッチダイヤルに登録した電話番号やメールアドレスが表示されます。

- この画面から続けて電話をかけたり、メールを作成したりできます。



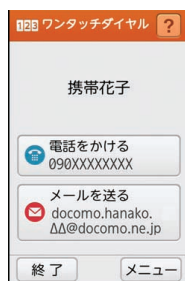
7

終了 をプレスする

ワンタッチダイヤルを使う

ホーム画面で登録済みのワンタッチダイヤルアイコンをプレスすると、簡単な操作で電話をかけたり、メールを作成したりすることができます。

ホーム画面でワンタッチダイヤルアイコン(1
～3)のいずれかをプレスする



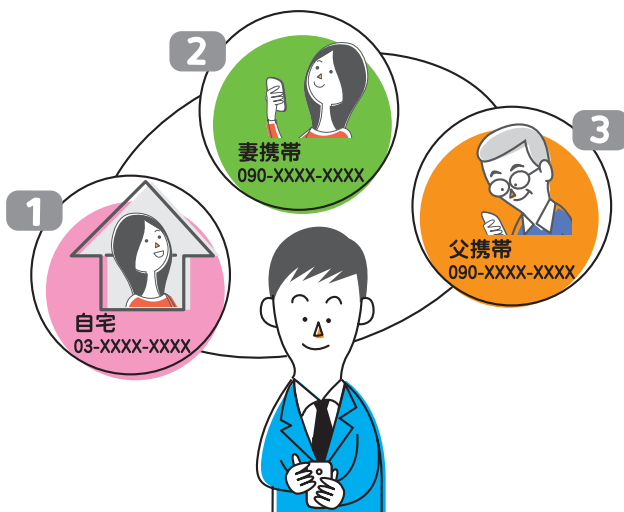
ワンタッチダイヤルを使って行いたい操作は何ですか？

電話

[電話をかける]をプレスする

メール

[メールを送る]をプレスする
メール作成画面が表示されます。



メールを使おう

メールを送る

用件を文字で伝えたいときにはメールを使います。時間と場所を選ばず相手に用件が伝えることができるのは、メールの魅力のひとつです。

なお、メールをご利用になるには、初回起動時に「ソフトウェア使用許諾契約書」をご確認の上、同意していただく必要があります。

1

ホーム画面で[メール]をプレスする

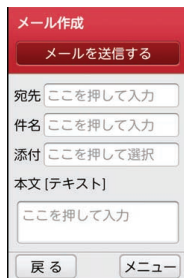
メールのトップ画面が表示されます。



2

[メール作成]をプレスする

メール作成画面が表示されます。

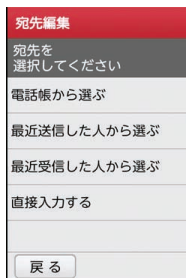


3

宛先、件名、本文を入力する

どの項目からでも入力することができます。入力が終わると、メール作成画面に戻ります。

① 宛先の[ここを押して入力]をプレスすると、宛先指定方法の選択画面が表示されます。



選択項目	宛先の指定方法
[電話帳から選ぶ]	電話帳が表示されます。宛先を選択します。
[最近送信した人から選ぶ]	これまでに送ったメールの宛先が新しいものから順に表示されます。宛先を選択します。
[最近受信した人から選ぶ]	これまでに届いたメールの相手が新しいものから順に表示されます。宛先を選択します。
[直接入力する]	電話帳に登録が無く、メールをやり取りしたことも無い場合には、メールアドレスを直接入力します。

- ② 件名の[ここを押して入力]をプレスすると、件名の入力画面が表示されます。
- ③ 本文の[ここを押して入力]をプレスすると、本文の入力画面が表示されます。
本文を入力するには複数の方法があります。

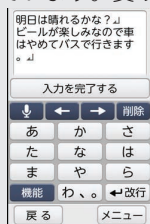


選択項目または操作	作成できるメール
文字が入力されるエリアをロングプレス	署名、本機にあらかじめ登録されているテンプレート、例文を使ってメールを作成することができます。
[デコメを挿入する]	本機にあらかじめ登録されているデコメ絵文字 [®] の中から好きなものを選んでメールを作成する方法です。
[かんたんデコメを使う]	入力した本文の内容に合わせて、絵文字やデコメ絵文字 [®] 、デコメ [®] ピクチャが挿入されたり、背景色や文字の色が変わります。次候補を押すたびに異なる装飾パターンが表示されます。簡単に装飾されたメールを作る方法です。
[装飾を使う]	文字色や大きさの変更、背景色の指定、文字のテロップ表示、画像挿入などの装飾を加えることで、オリジナリティ溢れるメールを作成することができます。



かんたんデコメを使ってメールを作成すると

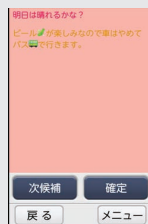
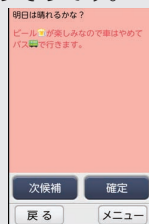
同じ内容のメールでも、文字だけのものと比べて、装飾されたメールは生き生きとしています。受け取った人も楽しくなりそうです。



文字だけのメール



かんたんデコメで絵文字を挿入した例



4

[メールを送信する]をプレスする

メールを送信するかどうかの確認画面が表示されます。



5

[送信する]をプレスする

メール送信中画面が表示され、送信が終わると完了メッセージが表示されます。



6

閉じる

をプレスする

メールのトップ画面に戻ります。



届いたメールを読む

次に、届いたメールを読む方法を覚えましょう。

メールを受信すると、音や光、振動、ホーム画面の表示などでお知らせします。

メールを受信したときの音や光、振動は変更することができます。詳しくは本機に搭載されている「使いかたガイド」の「メールの設定」をご覧ください。

受信すると…



受信中と未読メールがあるときにお知らせランプが点滅します。

新着通知

新しいメール(新着メール)が届いたことが表示されます。複数のメールが届いたときには、その件数也表示されます。

未読メールの件数が表示されます。

1

ホーム画面に新着メールが届いていることが表示されているときに新着通知をプレスする

受信メールのフォルダー一覧が表示されます。

読んでいないメールがあるときには、その件数が表示されます。

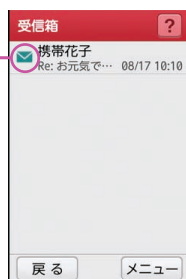


2

「受信箱」をプレスする

届いたメールの一覧が表示されます。

届いたメールのうち、読んでいないメールにはこのマークが付いています。



3

読んでいないメールをプレスする


受信メールの詳細画面が表示されます。



4

メールを読み終わったら ボタンを押す

ホーム画面に戻ります。

- 読み終わったメールにすぐに返信するには、 ボタンを押さずに本書p.42「届いたメールに返信する」の操作5に進んでください。

届いたメールに返信する

次に、すでに読み終えて保存しておいたメールに返信する方法を覚えましょう。
受信したメールに返信する場合には、宛先の入力は不要です。

1 ホーム画面で[メール]をプレスする



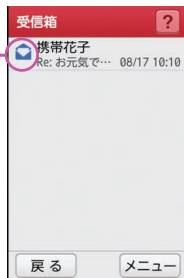
2 [受信メール]をプレスする

受信メールのフォルダー一覧が表示されます。



3 [受信箱]をプレスする

受信箱フォルダ内に保存されている受信メールの一覧が表示されます。



読んだメールには、このマークが付いています。



メールの振り分けを設定しているときには

受信したメールはすべて受信箱に保存されますが、メールの振り分けを設定すると、指定したフォルダにメールが保存されます。
頻繁にメールをやり取りする人や特定の送信元から定期的に届くメールなどの振り分けを設定しておくと、メールの整理がしやすくなります。
メールの振り分けについては、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「メールの操作」をご覧ください。

4

返信するメールをプレスする

受信メールの詳細画面が表示されます。

5

[返信する]をプレスする

宛先と件名が入力されているメール作成画面が表示されます。

- 入力されている件名には、受信したメールの件名の先頭に「Re:」が付いています。返信でメールのやり取りを行うと、「Re:」の後ろにやり取りの回数がわかる数字が付きます。
- 複数の人に送られたメールに返信するときには、差出人だけに返信するか、全員に返信するかの確認画面が表示されます。



簡単に返信するには

らくらく返信設定をすると、メールでよく使いそうな文章を選ぶ画面が表示されるようになります。

文章をプレスすると、選んだ文章が入力されているメール作成画面が表示されます。

らくらく返信設定については、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「メールの設定」をご覧ください。

6

本書p.37「メールを送る」の操作3③～5を行い、メールを送信する

音の設定をしよう

本機から鳴る音を覚えよう

本機から鳴る音によって、さまざまなことを知ることができます。
ここでは代表的な音の種類について、説明します。

音の種類	音が鳴るタイミング	音の変更
着信音	電話がかかってきたとき	内蔵されている音やメロディから設定することができます。 音が鳴らないように設定することもできます。
通知音	メールやメッセージ、SMSを受信したときなど	
タッチ／プレス時の操作音	電話番号を入力しているときに表示されるダイヤルパッドやその他の画面で操作をしたとき	音が鳴らないように設定することができます。
充電通知音	充電が開始／完了したとき	
シャッター音	写真撮影やビデオ撮影をしたとき	シャッター音を消すことはできません。

マナーモードを設定していても、シャッター音、写真撮影のオートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は消すことができません。
詳しくは、本書p.17「マナーモードに設定する」をご覧ください。

電話がかかってきたときに鳴る音を変えるには。

ここでは、あらかじめ本機に用意されている内蔵メロディを設定する方法を説明します。

1

ホーム画面で[設定]をプレスする



2

[音・振動の設定]をプレスする



3

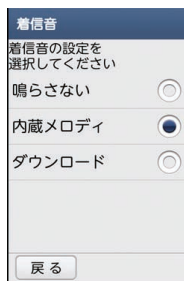
[電話着信時の設定]をプレスする



4

[着信音]をプレスする

着信音の設定の選択画面が表示されます。



5

[内蔵メロディ]をプレスする

内蔵メロディの一覧が表示されます。



6

鳴らしたいメロディをプレスして

完了

をプレスする

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

- メロディをプレスしたときには、そのメロディが再生されます。



7

OK

をプレスする

■ カメラを使おう

写真を撮り、トップ画面に設定する方法を説明します。

季節の花や家族の写真、楽しい旅のシーンなどをトップ画面に設定しておけば、本機を使う楽しみが広がるでしょう。

カメラ機能でできること

写真を撮る

撮った写真は、トップ画面に設定することができます。



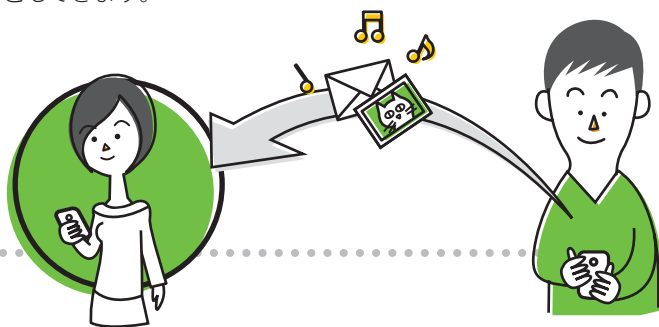
ビデオを撮る

動いているシーンをそのまま残したいときには、ビデオ機能を使うことができます。



写真やビデオを利用する

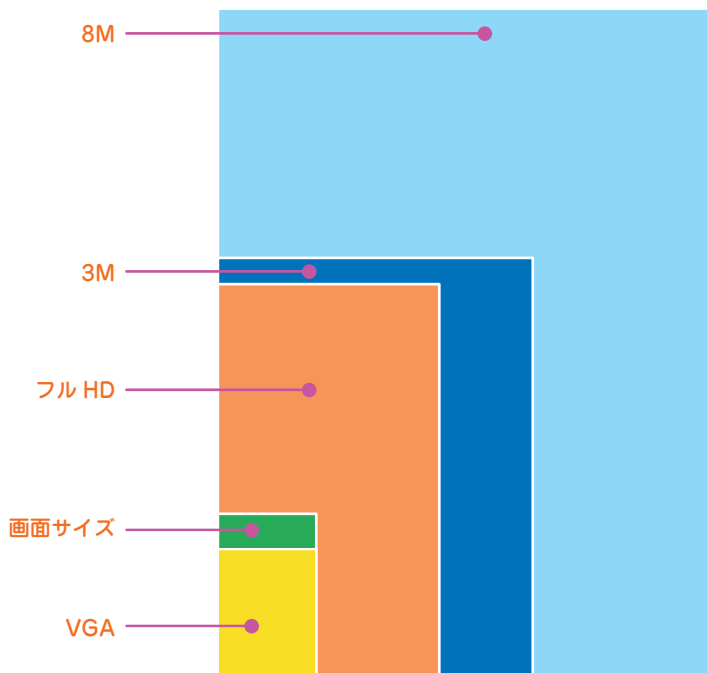
写真やビデオは、メール機能や赤外線機能を利用して他の人に送ることができます。また、撮影した写真やビデオをmicroSDカードへ保存したり、パソコンに転送したりすることもできます。



写真やビデオの大きさについて

■ 写真の撮影サイズ

本機ではさまざまなサイズの写真を撮ることができます。本機のトップ画面に設定したり、大きなサイズで印刷したりと、目的に合わせて撮影サイズを設定しましょう。お買い上げ時には、最も大きい8Mに設定されています。



※ 撮影サイズを表す枠はイメージです。実際のサイズとは異なります。

パソコンなどを使って大きなサイズの写真を小さくすることはできますが、その逆はできません。保存容量に余裕があるときには、大きなサイズに設定しておくといでしょう。ただし、大きなサイズの写真は保存容量を多く使うので、microSDカードに保存することをおすすめします。

撮影サイズの変更方法については、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「写真の撮影設定メニュー」をご覧ください。

■ ビデオサイズ(容量)

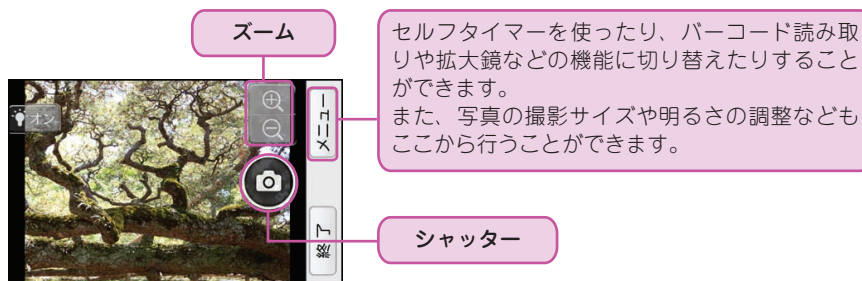
「ハイビジョン」「中(VGA)」「小(QVGA)」からファイルサイズを選びます。お買い上げ時には最も高画質のハイビジョンに設定されています。

ビデオの画像サイズとファイルサイズの変更方法については、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「ビデオの撮影設定メニュー」をご覧ください。

写真を撮って保存する

ホーム画面で[カメラ]をプレスする

写真撮影画面が表示されます。



被写体にカメラを向けて静止させ、ピントが合ったら を軽く指でタッチまたは ボタンを押す

をプレスする

写真はmicroSDカードに保存されます。

- microSDカードが挿入されていないときには本体に保存されます。
- なお、撮影のたびに手動で保存先を指定するように設定することもできます。

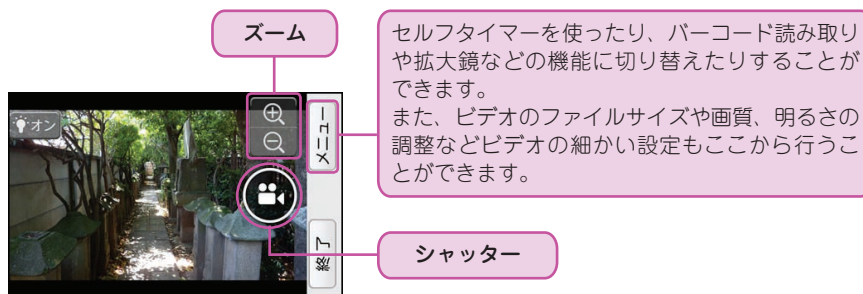
撮影が終了したら、 をプレスする

ホーム画面に戻ります。

ビデオを撮って保存する

ホーム画面で[ビデオ]をプレスする

ビデオ撮影画面が表示されます。



を軽く指でタッチまたは ボタンを押す

撮影が開始されます。

を軽く指でタッチまたは ボタンを押す

撮影が終了し、ビデオはmicroSDカードに保存されます。

- microSDカードが挿入されていないときには本体に保存されます。
なお、保存先を[microSD優先] / [本体メモリ優先]から選んで設定することもできます。

撮影が終了したら、 をプレスする

ホーム画面に戻ります。

撮った写真を見る

1

ホーム画面で[アルバム]をプレスする

アルバムの一覧が表示されます。

撮影した写真の保存先がmicroSDカードの場合は、「SDの写真1」という名前のアルバムに保存されています。



2

見たい写真が保存されているアルバムをプレスする

画像(写真やビデオ)の一覧が表示されます。



3

見たい写真をプレスする

写真が大きく表示されます。

全画面表示をプレスすると、写真が画面いっぱいに表示されます。



4

写真を見終わったら、 ボタンを押す

ホーム画面に戻ります。

撮った写真をトップ画面に設定する

1

本書p.50「撮った写真を見る」の操作1～3を行い、トップ画面に設定したい写真を大きく表示させたら **メニュー** をプレスする

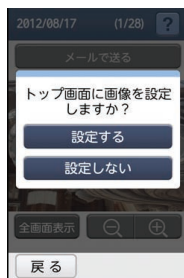
その写真に対して操作できるメニューが表示されます。



2

[トップ画面に貼る]をプレスする

写真をトップ画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。



3

設定する をプレスする

トップ画面に写真を設定した旨のメッセージが表示されます。



4

OK をプレスする

写真が大きく表示されている画面に戻ります。



5

ホームボタンを押す

ホーム画面に戻ります。

テレビ（ワンセグ）を楽しもう

ワンセグとは、携帯電話などで楽しめる地上デジタルテレビ放送サービスのことで、外出先でテレビを見ることができるだけでなく、データ放送を利用して番組に関するさまざまな情報やニュースなどを知ることができます。



本機でテレビを見る前に

本機でテレビを見るには、まずチャンネルリストを設定する必要があります。チャンネルリストの設定については、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「チャンネルリストの設定」をご覧ください。

ワンセグでできること

テレビを見る

外出先でも手軽にテレビを楽しめます。本機を横にすると、横画面で映像を大きく見ることができます。

※テレビを視聴するときにはワンセグアンテナをしっかりと伸ばしてください。アンテナの向きをかえるときにはアンテナの根元近くを持って回してください。



番組に参加する

データ放送を利用すると、クイズ番組に参加できたり、番組で紹介された場所や商品の詳しい情報を取得したりすることができます。

また、ニュースや天気予報などは、放送時間を待たなくても確認することができます。



テレビを見る

① ホーム画面で[テレビ・ラジオ]の **開く** をプレスする

② [テレビ]をプレスする

テレビの視聴画面が表示されます。

- マナーモードを設定しているときには、マナーモードを無効にするかどうかの選択画面が表示されます。

映像

左右にフリックして番組を切り替えることができます。
また、ここをプレスすると、テレビ操作画面が表示されます。

データ放送の操作ボタン



チャンネルと番組名

字幕／データ放送

番組の情報を表示したり、チャンネルリストを設定したりすることができます。

横画面にするとデータ放送は表示されずに、映像が画面いっぱいに表示されます。

テレビを見終わったら **終了** をプレスする

ホーム画面に戻ります。

- マナーモードを無効にしてテレビの視聴を開始した場合は、マナーモードを有効にするかどうかの選択画面が表示されます。

■ 使いかたを調べよう

使用中の機能の概要を知りたいときには、「どこでもヘルプ」で簡単に調べることができます。

また、外出先などで手元に本書がないときなどに、携帯電話の使いかたや、困ったときの対処などをらくらくホンセンターに電話をかけて聞いたり、本機に搭載されている「使いかたガイド」で調べたりできます。

「どこでもヘルプ」で機能の概要を知るには

画面の右上に「？」が表示されているときにそのアイコンをプレスすると、機能の概要や設定項目についての説明が表示されます。

「？」は表示されている画面によって色が異なります。

アプリケーションの利用中に「？」をプレスする

機能の概要や設定項目についての説明が表示されます。



戻る をプレスする

「？」をプレスした画面に戻ります。

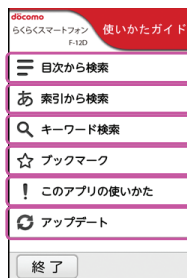
「使いかたガイド」を使う

「使いかたガイド」の表示のさせかた

ホーム画面で「使いかたガイド」をプレスする

初めて「使いかたガイド」を起動させたときには、コンテンツアップデートを実行するかどうかの確認画面が表示されます。コンテンツをアップデートすると、「使いかたガイド」が起動します。

閉じる をプレスすると、「このアプリの使いかた」が表示されます。[次回以降も表示する]をプレスしてチェックを外し **閉じる** をプレスすると、次回起動時には「このアプリの使いかた」は表示されず、「使いかたガイド」のトップ画面が表示されるようになります。



機能ごとにまとめた目次から機能を検索します。

50音順に並んだ機能名から検索します。

キーワードを入力して関連する機能の一覧を表示させ、その一覧から検索します。

ブックマークに登録した項目から検索します。
よく使う機能などのページをブックマークしておく、簡単に表示させることができます。

「使いかたガイド」の画面の見かたや操作方法を説明しています。

サイトにアクセスして「使いかたガイド」のバージョンをチェックし、更新されている場合にはダウンロードします。

いずれかの検索方法で調べたい機能を表示させる

機能・操作の説明画面の見かたについては、本書p.56 「「使いかたガイド」の機能・操作の説明画面の見かた」をご覧ください。

確認が終了したら **🏠** ボタンを押す

ホーム画面に戻ります。

「使いかたガイド」の機能・操作の説明画面の見かた

タイトル
[目次から検索]で引くことができるタイトルです。

機能の概要説明と補足
機能の概要説明と補足

機能起動
プレスすると、機能が起動します。ただし、お買い上げ時の設定を変更していると、起動しない場合があります。

操作手順
操作のしかたと、操作の補足的な説明を記載しています。

お知らせ
知っている便利な情報などです。

関連機能のリンク
プレスすると、関連する機能の説明画面に移動します。

プレスすると、ひとつ前の画面に戻ります。

プレスすると、画面の先頭に移動します。

「使いかたガイド」のガイドトップ画面に戻ったり、文字サイズを変えたり、ブックマークに登録したりするときに使用します。

画面をタッチすると左右に◀▶が数秒間表示されます。このマークをプレスすると、前後の機能の説明画面に移動します。

※ 上記で使用している画面は説明用に作成したサンプル画面です。実際に表示される画面や内容とは異なります。

また、文字の大きさも変更しています。

待受画面の見かたを覚えよう

次の画面はシンプルメニューの待受画面です。

ここではシンプルメニューの待受画面の見かたを簡単に説明します。詳しくは本機に搭載されている「使いかたガイド」の「待受画面(ホーム画面)の見かた【シンプル】」をご覧ください。

1 ステータスバー

i チャンネルの情報
i チャンネルで取得した情報が表示されます。プレスすると、さらに詳しい情報を閲覧することができます。

ワンタッチダイヤル
ワンタッチダイヤルに登録した相手に電話をかけたり、メールを送ったりするときに使います。ワンタッチダイヤルの登録のしかたは本書p.69「ワンタッチダイヤルの登録のしかた」をご覧ください。

2 新着通知

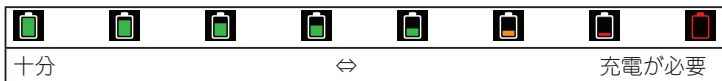
プレスすると、らくらくホンセンターに電話をかけるか、「使いかたガイド」を読むかの選択画面が表示されます。「らくらくホンセンター」は各種手続き、お問い合わせなどにアドバイザーが直接お答えするセンターで、通話料はかかりません。
受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)
「使いかたガイド」については本書p.95「「使いかたガイド」を使う」をご覧ください。

「①ステータスバー」「②新着通知」については、次に詳しく説明します。

1 ステータスバー

電池残量や電波など本機の状態がわかる「ステータスアイコン」と、お知らせなどの通知があることがわかる「通知アイコン」が表示されます。

● 電池残量



● 電波の受信状態



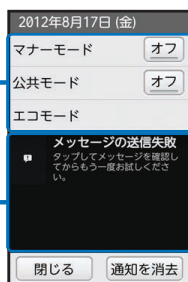
● 通知パネル

待受画面に表示されているステータスバーをプレスすると、通知パネルを表示させることができます。

マナーモード、公共モード、エコモードの設定状態を確認できます。設定を変更することもできます。

通知

プレスすると、内容を確認できます。



2 新着通知

メールの受信や電話の不在着信などが表示されます。2種類以上の新着通知がある場合は[新着あり]と表示されます。プレスすると、新着通知の種類を知ることができます。各アプリケーションを起動して確認が終了すると、新着通知は消えます。



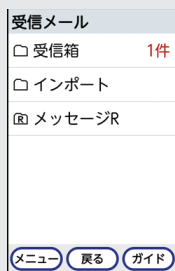
複数の新着通知を確認するには



新着通知をプレスする



確認する新着通知をプレスする



新着メールをプレスしたときの例

自分の電話番号やメールアドレスを確認しよう

自分自身の電話番号やメールアドレスは「個人情報」で管理します。電話番号はドコモ miniUIMカードごとに決まっていますが、メールアドレスはいつでも自由に変更することができます。

- ① 待受画面で **メニュー** をプレスする
- ② **自分の電話番号を見る** をプレスする

登録した名前

個人情報
ドコモ太郎
ドコモ090
[Phone Icon] [Email Icon]
090XXXXXXXX
メニュー 戻る 修正する

登録した電話番号とメールアドレスの数がわかるマーク

マークをプレスすると、電話番号とメールアドレスが切り替わります。

自分の電話番号

個人情報を赤外線で送信するときにプレスしてメニューを表示させます。
電話をかけたり、メールを作成したりすることもできます。

ここをプレスすると、名前、住所、メモ、誕生日などの個人情報が登録・修正できます。

※ 上の画面は、名前とメールアドレスを1件入力した例です。

住所、メモ、誕生日などを登録すると、画面に表示されるようになります。

確認したら **戻る** をプレスする



個人情報を修正するには

登録している内容を変更したり追加したりする方法は、電話帳の修正のしかたと同様です。

電話帳の修正のしかたについては、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「電話帳の編集」をご覧ください。



自分のメールアドレスを確認するには

個人情報にメールアドレスは自動的に表示されません。メールアドレスは、待受画面で[メール]→[メールを設定する]→[その他]をプレスし、[マイアドレス]で確認できます。

電話を使おう

電話を受けるには？

電話がかかってくると、音や光、ディスプレイなどでお知らせします。

電話がかかってくると…



電話帳に登録している電話番号から電話がかかってきたときは、登録名が表示されます。
電話帳に登録していない電話番号から電話がかかってきたときは、その電話番号が表示されます。
相手が電話番号を通知せずに電話をかけてきた場合には、その理由が表示されます。

電話帳に登録している電話番号から電話がかかってきたときは、その番号が表示されます。

伝言メモを起動したり、着信拒否をしたりする場合には、ここをプレスしてメニューを表示させ、それぞれの動作を選びます。

- ① 相手を確認してから **電話に出る** をプレスする
- ② 受話口を耳にあて、マイクに向かって話す



プレスすると、通話を保留することができます。
保留中にプレスすると、通話に戻ることができます。

通話中でも一定時間が経過するとディスプレイの表示が消えます(スリープモード)。再びディスプレイを表示させるには、 ボタンまたは ボタンを押します。

話し終わったら **電話を切る** をプレスして、電話を切る

電話をかけるには？

電話のかけかたにはいくつかありますが、代表的なかけかたを説明します。

待受画面で「電話」をプレスする

電話帳・履歴
電話してきた相手を見る
電話をかけた相手を見る
電話をかける
電話帳の内容を見る
電話帳を検索する
戻る

電話番号を入力

同じ市内にかけるときでも必ず市外局番を入力してください。

① 「電話をかける」をプレスする

ダイヤル入力中

090XXXXXXXXX 削除		
1	2	3
4	5	6
7	8	9
*	0	#
電話をかける		
メニュー	戻る	ガイド

② 電話番号を入力して、確認する

発信履歴を利用

電話がかかってくると相手や日時が「着信履歴」として、電話をかけると相手や日時が「発信履歴」として記録されます。

① 「電話してきた相手を見る」または「電話をかけた相手を見る」をプレスする

着信履歴
携帯花子 10:15 不在着信
ドコモ一郎 10:07 不在着信
携帯花子 10:06 不在着信
携帯花子 10:00 不在着信
メニュー 戻る ガイド

発信履歴
携帯花子 11:49 発信
ドコモ一郎 10:08 発信
ドコモ一郎 10:05 発信
携帯花子 10:04 発信
メニュー 戻る ガイド

② 電話をかけたい相手を選ぶ

電話をかけるをプレスする

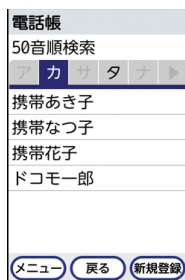
話し終わったら 電話を切る をプレスして、電話を切る

電話帳に登録しよう

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録しておく、それらを毎回入力する必要がなくなり、メモや記憶に頼ることなく連絡が取れるようになります。

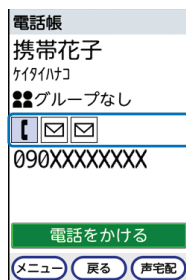
また、電話帳に登録した相手から電話がかかってきたときには登録した名前が表示されるので、安心して電話に出ることができます。

電話帳の画面



<電話帳のリスト>

名前をプレスすると、詳細画面が表示されます。



<電話帳の詳細画面>

登録した電話番号とメールアドレスの数がわかるマーク

このマークをプレスすると、電話番号とメールアドレスなど登録した内容の表示が切り替わります。

電話番号とメールアドレスの登録のしかた

1

待受画面で「電話」をプレスする

電話のメニュー画面が表示されます。

電話帳・履歴
電話してきた相手を見る
電話をかけた相手を見る
電話をかける
電話帳の内容を見る
電話帳を検索する
戻る

2

「電話帳に登録する」をプレスする

名前の入力画面が表示されます。

この欄をプレスして、
文字入力ができる画面
を表示させます。

電話帳登録
名前を 入力してください
ここを押して入力
戻る 次の項目



電話帳登録
名前を 入力してください
携帯花子
戻る 次の項目

3

名前を入力したら「次の項目」をプレスする

入力した名前のフリガナの入力画面が表示されます。

- 電話帳リストの50音順に正しく表示させるため、フリガナは正しく入力してください。

電話帳登録
フリガナを 入力してください
ケイタイ花子
戻る 次の項目

4

フリガナが正しいことを確認して「次の項目」をプレスする

電話番号の登録方法の選択画面が表示されます。

電話番号の 登録方法を 選んでください
直接入力
着信履歴から
発信履歴から
入力しない
戻る

●次ページへ

5

[直接入力]をプレスする

電話番号の入力画面が表示されます。

この欄をプレスして、
文字入力ができる画
面を表示させます。

電話帳登録
電話番号を
入力してください

ここを押して入力

戻る 次の項目



電話帳登録
電話番号を
入力してください

090XXXXXXXXX|

戻る 次の項目



すでに電話を受けたり、かけたりしている相手を登録するときには

電話を受けた相手を登録するときには[着信履歴から]を、電話をかけた相手を登録するときには[発信履歴から]を選んで登録すると、電話番号を間違えることなく簡単に登録することができます。詳しくは本機に搭載されている「使いかたガイド」の「電話帳を登録」をご覧ください。

6

電話番号を入力して(次の項目)をプレスする

2つ目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 一般電話の番号は、必ず市外局番から入力してください。
数字を()やーなどで区切る必要はありません。

追加で電話番号を
入力しますか？

入力する
入力しない

戻る



複数の電話番号を登録するには

2つ目の電話番号を登録する場合は、確認画面で[入力する]をプレスして、電話番号を入力します。

7

[入力しない]をプレスする

メールアドレスの登録方法の選択画面が表示されます。

メールアドレスの
登録方法を
選んでください

直接入力
入力しない

戻る

【直接入力】をプレスする

メールアドレスの入力画面が表示されます。

- 【入力しない】を選んだ場合には、操作10に進みます。

この欄をプレスして、
文字入力ができる画面を表示させます。

電話帳登録

メールアドレスを
入力してください

ここを押して入力

戻る 次の項目



電話帳登録

メールアドレスを
入力してください

rako.ΔΔ@docomo.ne.jp

戻る 次の項目

メールアドレスを入力して【次の項目】をプレスする

2つ目のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

追加で
メールアドレスを
入力しますか？

入力する
入力しない

戻る



複数のメールアドレスを登録するには

2つ目のメールアドレスを登録する場合は、確認画面で【入力する】をプレスして、メールアドレスを入力します。

【入力しない】をプレスする

郵便番号と住所を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

郵便番号と住所を
入力しますか？

入力する
入力しない

戻る ガイド

11

[入力しない]をプレスする

メモを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

メモを 入力しますか？
入力する
入力しない
<div>戻る</div> <div>ガイド</div>

12

[入力しない]をプレスする

誕生日を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

誕生日を 入力しますか？
入力する
入力しない
<div>戻る</div>

13

[入力しない]をプレスする

ワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- グループが設定されている場合は、登録するグループの選択画面が表示されます。

電話帳を 登録しました。 ワンタッチダイヤルに 登録しますか？
登録する
終了する
<div>ガイド</div>

[終了する]をプレスする

電話帳のリスト画面に戻ります。

- 続けてワンタッチダイヤルを登録する場合には[登録する]をプレスします。どのワンタッチダイヤルに登録するのかの選択画面が表示されたら、ワンタッチダイヤルを選びプレスします。
これ以降のワンタッチダイヤルの登録のしかたは、本書p.69「ワンタッチダイヤルの登録のしかた」操作3に進んでください。



電話帳の内容を変えたいときには

登録した電話帳の内容を変更したり、追加したりするときは、はじめから登録し直す必要はありません。

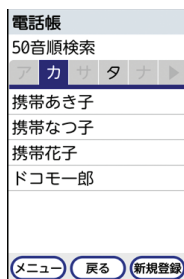
変更したり、追加したりするには本機に搭載されている「使いかたガイド」の「電話帳の編集」をご覧ください。

電話帳を使って電話をかける

電話帳を登録したら、電話帳を利用して電話をかけてみましょう。
ここでは、お買い上げ時に設定されている検索方法で説明します。

- ① 待受画面で **電話** をプレスする
- ② **[電話帳の内容を見る]** をプレスする

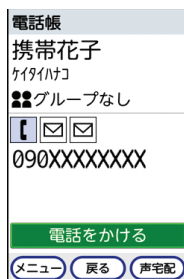
電話帳のリストが表示されます。



電話をかける相手をプレスする

電話帳の詳細画面が表示されます。

- 電話番号が複数登録されている場合は、電話番号の数がわかるマークをプレスして、かけたい番号を確認します。



電話をかける をプレスする

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

電話する をプレスする

話し終わったら **電話を切る** をプレスして、電話を切る

ワンタッチダイヤルの登録のしかた

よく連絡を取る相手の電話番号やメールアドレスをワンタッチダイヤルに登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送ったりすることができます。3つのワンタッチダイヤルのそれぞれに、電話番号とメールアドレスを1つずつ登録することができます。

ここでは、電話帳に登録されている相手をワンタッチダイヤルに登録する方法を説明します。

1

待受画面でワンタッチダイヤルアイコン(1 ～3)のいずれか1つをプレスする

ワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

ワンタッチダイヤルが登録
されていません。
登録しますか？

電話帳から選ぶ
新規に登録する
登録しない

戻る

2

「電話帳から選ぶ」をプレスする

電話帳のリストが表示されます。

電話帳

50音順検索

ア カ セ タ ナ

携帯あき子

携帯なつ子

携帯花子

ドコモ一郎

検索方法

戻る

3

登録したい相手を選ぶ

表示されている電話番号を登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- 電話番号が複数登録されている場合には、ワンタッチダイヤルに登録する番号の選択画面が表示されます。

この電話番号を
登録します

090XXXXXXX

戻る

次の項目

4

次の項目をプレスする

表示されているメールアドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- メールアドレスが複数登録されている場合には、ワンタッチダイヤルに登録するアドレスの選択画面が表示されます。

このメールアドレスを登録します
docomo.hanako.ΔΔ@.
<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="決定"/>

5

決定をプレスする

ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。

ワンタッチダイヤル 1 に 携帯花子 を登録しました
<input type="button" value="OK"/>

6

OKをプレスする

ワンタッチダイヤルに登録した電話番号やメールアドレスが表示されます。

- この画面から続けて電話をかけたり、メールを作成したりできます。

ワンタッチダイヤル 1
携帯花子 090XXXXXXX docomo.hanako. ΔΔ@docomo.ne.jp
<input type="button" value="電話をかける"/>
<input type="button" value="メールを書く"/>
<input type="button" value="修正する"/> <input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="声宅配"/>

7

戻るをプレスする

ワンタッチダイヤルを使う

待受画面で登録済みのワンタッチダイヤルアイコンをプレスすると、簡単な操作で電話をかけたり、メールを作成したりすることができます。

待受画面でワンタッチダイヤルアイコン(**1** ~ **3**)のいずれかをプレスする

ワンタッチダイヤル1
携帯花子
090XXXXXXX
docomo.hanako.
△△@docomo.ne.jp
電話をかける
メールを書く
<small>修正する</small> <small>戻る</small> <small>声宅配</small>

ワンタッチダイヤルを使って行いたい操作は何ですか？

電話

電話をかける をプレスする

メール

メールを書く をプレスする

メールを使おう

文字として情報を伝えたいときや、喜びや感謝の気持ちなどを文字で表現したいときなどには、メールを使ってみましょう。電話が使えないところにいる相手にも用件が伝わるということも、メールの魅力のひとつです。

2つのメール作成モード

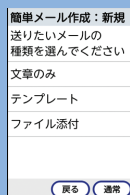
シンプルメニューのメール作成には、「簡単メール」と「通常メール」という2種類のモードがあります。新しくメールを作成するときの操作の違いは、次のとおりです。



待受画面で「メール」をプレスして[メールを作る]をプレスしたら、次のどちらの画面が表示されましたか？

簡単メールモード

手引きに従って送信まで操作していくモードです。メールの使い始めに適しています。



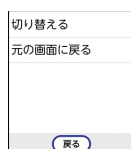
簡単メール作成画面

送りたいメールの種類をプレスする

操作手順に沿って、メールを作成

メール作成のモードを切り替えるには

メール作成中の画面に「通常」または「簡単」が表示されているときには、モードを切り替えることができます。



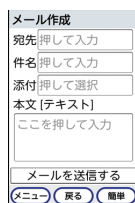
モード切り替え画面

[切り替える]をプレスする

メール作成のモードが切り替わる

通常メールモード

手引きに従うことなく、自分の好きな項目から作成ができるモードです。



通常メール作成画面

項目をプレスする

手引きに従うことなく、メールを作成

※ 本書では、簡単メールモードの送りかたを説明しています。通常メールモードの操作方法については、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「メールの作成・送信【標準】」をご覧ください。

メールを送る

用件を文字で伝えたいときにはメールを使います。時間と場所を選ばず相手に用件を伝えることができるのは、メールの魅力のひとつです。

ここでは、「簡単メール作成」の機能を使って、メールを送る方法を説明します。

なお、メールをご利用になるには、初回起動時に「ソフトウェア使用許諾契約書」をご確認の上、同意していただく必要があります。

1

待受画面で「メール」をプレスする

メールのメニュー画面が表示されます。

メール
受信したメールを見る
メールを作る
テンプレートを使ってメールを作る
未送信のメールを見る
メニュー 戻る ガイド

2

「メールを作る」をプレスする

送りたいメールの種類の選択画面が表示されます。

簡単メール作成：新規
送りたいメールの種類を選んでください
文章のみ
テンプレート
ファイル添付
戻る 通常



「簡単メール作成：新規」画面が表示されなかった場合には、画面右下の「簡単」をプレスして、[切り替える]をプレスしてください。上の画面が表示されます。

3

「文章のみ」をプレスする

宛先の指定方法選択画面が表示されます。

簡単メール作成：新規
宛先を 入力してください
宛先：＜指定なし＞
最近送信した人
最近受信した人
電話帳から選ぶ
直接入力する
戻る 通常

4

[電話帳から選ぶ]をプレスする

電話帳のリストが表示されます。

電話帳
50音順検索
ア カ サ タ ナ ド
携帯あき子
携帯なつ子
携帯花子
ドコモ一郎
戻る

5

メールを送る相手をプレスする

宛先の編集画面が表示されます。

簡単メール作成：新規
宛先を
入力してください
宛先：携帯花子
この宛先を編集
次へ進む
他の宛先を編集
戻る 通常

6

[次へ進む]をプレスする

件名の指定方法選択画面が表示されます。

簡単メール作成：新規
件名を
入力してください
件名：
直接入力する
例文から選ぶ
次へ進む
戻る 通常



この画面で[例文から選ぶ]をプレスすると、あらかじめ本機に入っている文章を使ってメールを作成することができます。

7

「直接入力する」をプレスする

件名の入力画面が表示されます。

8

件名を入力して「入力完了」をプレスする

件名が入力された件名の指定方法選択画面が表示されます。

9

「次へ進む」をプレスする

本文の編集画面が表示されます。

10

「本文を編集する」をプレスする

本文の入力画面が表示されます。

11

本文を入力してをプレスする

本文が入力された本文の編集画面が表示されます。

簡単メール作成：新規	
本文を 入力してください	
本文：	
久しぶりです🍵	
近いうちに📬しましょ う🍷	
本文を編集する	
次へ進む	
<input type="button" value="戻る"/>	<input type="button" value="通常"/>

12

[次へ進む]をプレスする

宛先、件名、本文を確認できる画面が表示されます。

簡単メール作成：新規	
宛先	<input type="text" value="携帯花子"/>
件名	<input type="text" value="お元気ですか？"/>
久しぶりです🍵	
近いうちに📬しまし よう🍷	
<input type="button" value="送信する"/>	
<input type="button" value="修正"/>	<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="通常"/>

13

送信する

をプレスする

メール送信を確認する画面が表示されます。

簡単メール作成：新規	
メールを 送信しますか？	
送信する	
保存して終了	
<div></div>	
<input type="button" value="戻る"/>	



この画面で[保存して終了]をプレスすると、メールは「未送信」へ移動し、後で送信することができます。

14

[送信する]をプレスする

メールの送信が完了した旨のメッセージが表示されます。

メール送信

メールの送信が
完了しました。

閉じる

15

閉じるをプレスする

届いたメールを読む

次に、届いたメールを読む方法を覚えましょう。

メールを受信すると、音や光、振動、待受画面の表示などでお知らせします。

メールを受信したときの音や光、振動は変更することができます。詳しくは本機に搭載されている「使いかたガイド」の「メールの設定」をご覧ください。

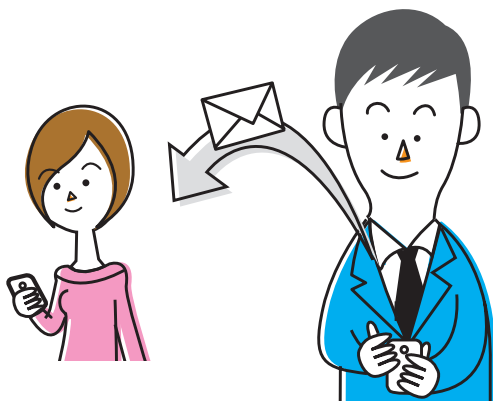
受信すると…



受信中と未読メールがあるときにお知らせランプが点滅します。

新着通知

新しいメール(新着メール)が届いたことが表示されます。複数のメールが届いたときには、その件数也表示されます。

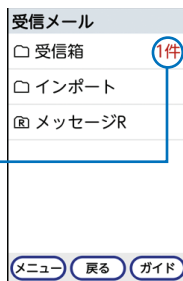


1

待受画面に新着メールが届いていることが表示されているときに新着通知をプレスする

受信メールのフォルダー一覧が表示されます。

読んでいないメールがあるときには、その件数が表示されます。



2

「受信箱」をプレスする

届いたメールの一覧が表示されます。

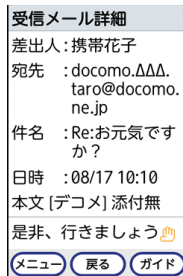
届いたメールのうち、読んでいないメールにはこのマークが付いています。



3

読んでいないメールをプレスする


受信メールの詳細画面が表示されます。



4

メールを読み終わったら ボタンを押す

待受画面に戻ります。

- 読み終わったメールにすぐ返信するには、 ボタンを押さずに本書p.82「届いたメールに返信する」の操作5に進んでください。

届いたメールに返信する

次に、すでに読み終えて保存しておいたメールに返信する方法を覚えましょう。
受信したメールに返信する場合には、宛先の入力是不要です。

メール作成モードによる返信操作の違い

受信箱のメール一覧から返信をすると、設定されているメール作成モードによって表示される画面が異なります。メール作成モードによる操作の違いは、次のとおりです。



返信したいメールを表示させてメニューをプレスして[返信する]をプレスしたら、次のどちらの画面が表示されましたか？

簡単メールモード

簡単メール作成：新規
送りたいメールの種類を選んでください
文章のみ
テンプレート
ファイル添付
戻る 通常

簡単メール作成画面

送りたいメールの種類をプレスする

簡単メール作成：返信
宛先を
入力してください
宛先：携帯電話
この宛先を編集
次へ進む
他の宛先を編集
戻る 通常

宛先入力画面

項目をプレスする

操作手順に沿って、
メールを作成

メール作成のモード を切り替えるには

メール作成中の画面に
通常 または 簡単 が
表示されているときには、
モードを切り替える
ことができます。

切り替える
元の画面に戻る
戻る

モード切り替え画面

[切り替える] を
プレスする

メール作成のモード
が切り替わる

通常メールモード

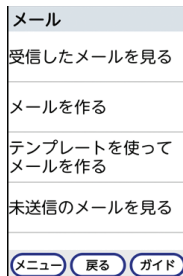
返信
宛先：携帯電話 追加
件名：Re[2]: お元気です...
添付：押して選択
本文 [テキスト]
ここを押して入力
メールを送信する
メニュー 戻る 簡単

通常メール作成画面

項目をプレスする

手引きに従うことなく、
メールを作成

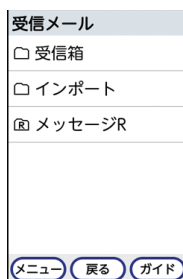
1

待受画面で **メール** をプレスする

2

[受信したメールを見る]をプレスする

受信メールのフォルダー一覧が表示されます。



3

[受信箱]をプレスする

受信箱フォルダ内に保存されている受信メールの一覧が表示されます。

**メールの振り分けを設定しているときには**

受信したメールはすべて受信箱に保存されますが、メールの振り分けを設定すると、指定したフォルダにメールが保存されます。

頻繁にメールをやり取りする人や特定の送信元から定期的に届くメールなどの振り分けを設定しておくと、メールの整理がしやすくなります。

メールの振り分けについては、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「メールの操作」をご覧ください。

4

返信するメールをプレスする

受信メールの詳細画面が表示されます。

受信メール詳細	
差出人:	携帯花子
宛先	: docomo.ΔΔΔ. taro@docomo. ne.jp
件名	: Re:お元気です か?
日時	: 08/17 10:10
本文 [デコメ]	添付無
是非、行きましょう👉	
<div> <div>メニュー</div> <div>戻る</div> <div>ガイド</div> </div>	

5

メニューをプレスする

メニュー
返信する
転送する
削除する
フォルダを移動する
電話帳に登録する
本文コピー
戻る

6

[返信する]をプレスする

送りたいメールの種類の選択画面が表示されます。

- 複数の人に送られたメールに返信するときには、差出人だけに返信するか、全員に返信するかの確認画面が表示されます。

簡単メール作成：新規
送りたいメールの 種類を選んでください
文章のみ
テンプレート
ファイル添付
戻る 通常

7

[文章のみ]をプレスする

宛先の編集画面が表示されます。

- 宛先には相手のメールアドレスが入力されています。

簡単メール作成：返信
宛先を 入力してください
宛先：携帯花子
この宛先を編集
次へ進む
他の宛先を編集
戻る 通常

[次へ進む]をプレスする

件名の入力画面が表示されます。

- 入力されている件名には、受信したメールの件名の先頭に「Re:」が付いています。返信でメールのやり取りを行うと、「Re」の後ろにやり取りの回数がわかる数字が付きます。

簡単メール作成：返信
件名を
入力してください
件名：Re[2]: お元気で...
直接入力する
例文から選ぶ
次へ進む
戻る 通常

[次へ進む]をプレスする

本文の編集画面が表示されます。

簡単メール作成：返信
本文を
入力してください
本文：
本文を編集する
次へ進む
戻る 通常

[本文を編集する]をプレスしたら、本書p.76「メールを送る」の操作11～15を行い、メールを送信する

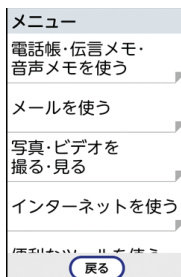
音の設定をしよう

本機から鳴る音によって、さまざまなことを知ることができます。代表的な音の種類については、本書p.43「本機から鳴る音を覚えよう」をご覧ください。

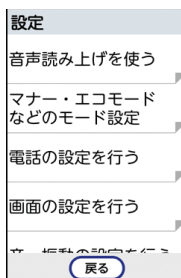
電話がかかってきたときに鳴る音を変えるには

ここでは、あらかじめ本機に用意されている内蔵メロディを設定する方法を説明します。

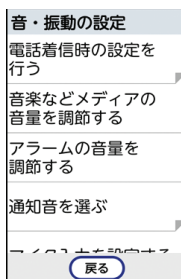
1 待受画面で[メニュー]をプレスする



2 [設定を行う]をプレスする



3 [音・振動の設定を行う]をプレスする



4

「電話着信時の設定を行う」をプレスする

電話着信時の設定	
電話着信時の着信音を選ぶ	
電話着信時の音量を調節する	
電話着信時の振動を設定する	
電話着信ランプの色を選ぶ	
戻る	

5

「電話着信時の着信音を選ぶ」をプレスする

着信音	
電話を受けた時に鳴らす音を設定してください	
着信音	ゆらめき
戻る 完了	

6

「着信音」をプレスする

電話を受けた時に鳴らす音の種類の選択画面が表示されます。

- 「名前の読み上げ」を選ぶと電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたときに、登録されているフリガナで「〇〇〇さんから電話です」と読み上げを行います。電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときには、着信音が鳴ります。

着信音	
電話を受けた時に鳴らす音の種類を選んでください	
メロディ	<input checked="" type="radio"/>
名前の読み上げ	<input type="radio"/>
戻る	

7

「メロディ」をプレスする

着信音の設定の選択画面が表示されます。

着信音	
着信音の設定を選択してください	
鳴らさない	<input type="radio"/>
内蔵メロディ	<input checked="" type="radio"/>
ダウンロード	<input type="radio"/>
戻る	

8

[内蔵メロディ]をプレスする

内蔵メロディの一覧が表示されます。



9

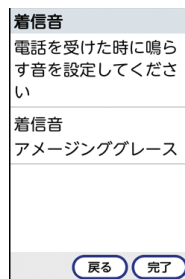
鳴らしたいメロディをプレスして

完了

をプレスする

設定した着信音が表示されます。

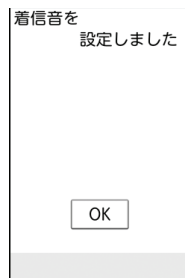
- メロディをプレスしたときには、そのメロディが再生されます。
- ここでは「アメージンググレース」を選びました。



10

完了をプレスする

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。



11

OKをプレスする

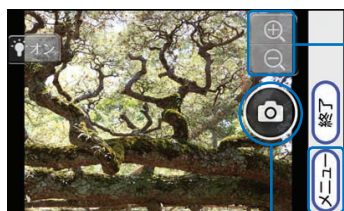
OK

カメラを使おう

写真を撮って保存する

- ① 待受画面で **メニュー** をプレスする
- ② **写真・ビデオを撮る・見る** をプレスする
- ③ **写真を撮影する** をプレスする

写真撮影画面が表示されます。



ズーム

シャッター

セルフタイマーを使ったり、バーコード読み取りや拡大鏡などの機能に切り替えたりすることができます。
また、写真の撮影サイズや明るさの調整などもここから行うことができます。

被写体にカメラを向けて静止させ、ピントが合ったら **カメラアイコン** を軽く指でタッチまたは **カメラボタン** を押す

カメラアイコン をプレスする

写真はmicroSDカードに保存されます。

- microSDカードが挿入されていないときには本体に保存されます。
- なお、撮影のたびに手動で保存先を指定するように設定することもできます。

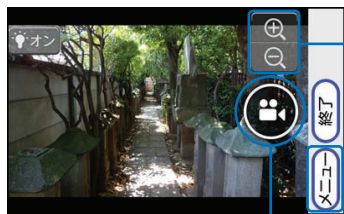
撮影が終了したら、 **終了** をプレスする

写真・ビデオのメニュー画面に戻ります。

ビデオを撮って保存する

- ① 待受画面で **メニュー** をプレスする
- ② **[写真・ビデオを撮る・見る]** をプレスする
- ③ **[ビデオを撮影する]** をプレスする

ビデオ撮影画面が表示されます。



ズーム

セルフタイマーを使ったり、バーコード読み取りや拡大鏡などの機能に切り替えたりすることができます。
また、ビデオのファイルサイズや画質、明るさの調整などビデオの細かい設定もここから行うことができます。

シャッター

を軽く指でタッチまたは **カメラ ボタンを押す**

撮影が開始されます。

を軽く指でタッチまたは **カメラ ボタンを押す**

撮影が終了し、ビデオはmicroSDカードに保存されます。

● microSDカードが挿入されていないときには本体に保存されます。

なお、保存先を[microSD優先] / [本体メモリ優先]から選んで設定することもできます。

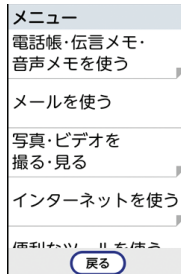
撮影が終了したら、 **終了 をプレスする**

写真・ビデオのメニュー画面に戻ります。

撮った写真を見る

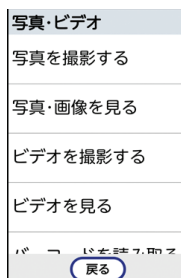
1

待受画面で **メニュー** をプレスする



2

[写真・ビデオを撮る・見る]をプレスする



3

[写真・画像を見る]をプレスする

アルバムの一覧が表示されます。

撮影した写真の保存先がmicroSDカードの場合は、「SDの写真1」という名前のアルバムに保存されています。



4

見たい写真が保存されているアルバムをプレスする

画像(写真やビデオ)の一覧が表示されます。



5

見たい写真をプレスする

写真が大きく表示されます。

全画面表示 をプレスすると、写真が画面いっぱいに表示されます。



6

写真を見終わったら、 ボタンを押す

待受画面に戻ります。



撮った写真をトップ画面に設定する

1

本書p.89「撮った写真を見る」の操作1～5を行い、トップ画面に設定したい写真を大きく表示させたら **メニュー** をプレスする

その写真に対して操作できるメニューが表示されます。

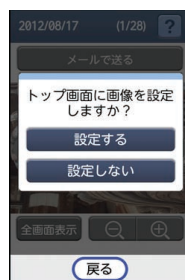


2

[トップ画面に貼る]をプレスする

写真をトップ画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

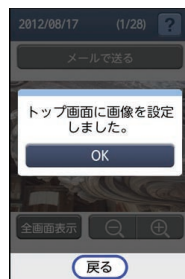
- [待受画面に貼る] プレスすると、待受画面に写真を設定することができます。



3

設定する をプレスする

トップ画面に写真を設定した旨のメッセージが表示されます。



4

OK

をプレスする

写真が大きく表示されている画面に戻ります。



5



ボタンを押す

待受画面に戻ります。



■ テレビ（ワンセグ）を楽しもう

ワンセグとは、携帯電話などで楽しめる地上デジタルテレビ放送サービスのことです。外出先でテレビを見ることができるだけでなく、データ放送を利用して番組に関するさまざまな情報やニュースなどを知ることができます。

ワンセグでできることについては、本書p.52「ワンセグでできること」をご覧ください。

テレビを見る

- ① 待受画面で **メニュー** をプレスする
- ② **[テレビ・ラジオを使う]** をプレスする
- ③ **[テレビを見る]** をプレスする

テレビの視聴画面が表示されます。

- マナーモードを設定しているときには、マナーモードを無効にするかどうかの選択画面が表示されます。

映像

左右にフリックして番組を切り替えることができます。
また、ここをプレスすると、テレビ操作画面が表示されます。

番組の情報を表示したり、チャンネルリストを設定したりすることができます。



チャンネルと番組名

字幕／データ放送

データ放送の操作ボタン

横画面にするとデータ放送は表示されずに、映像が画面いっぱいに表示されます。

テレビを見終わったら **終了** をプレスする

テレビ・ラジオのメニュー画面に戻ります。

- マナーモードを無効にしてテレビの視聴を開始した場合は、マナーモードを有効にするかどうかの選択画面が表示されます。

■ 使いかたを調べよう

使用中の機能の概要を知りたいときには、「どこでもヘルプ」で簡単に調べることができます。

また、外出先などで手元に本書がないときなどに、携帯電話の使いかたや、困ったときの対処などをらくらくホンセンターに電話をかけて聞いたり、本機に搭載されている「使いかたガイド」で調べたりできます。

「どこでもヘルプ」で機能の概要を知るには

画面の右下に **ガイド** または画面の右上に **?** が表示されているときにそのアイコンをプレスすると、機能の概要や設定項目についての説明が表示されます。

アプリケーションの利用中に **ガイド** または **?** をプレスする

機能の概要や設定項目についての説明が表示されます。



戻る をプレスする

ガイド または **?** をプレスした画面に戻ります。

「使いかたガイド」を使う

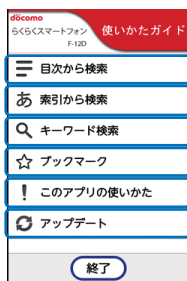
「使いかたガイド」の表示のさせかた

① 待受画面で「使い方」をプレスする

② 「使いかたガイドを読む」をプレスする

初めて「使いかたガイド」を起動させたときには、コンテンツアップデートを実行するかどうかの確認画面が表示されます。コンテンツをアップデートすると、「使いかたガイド」が起動します。

閉じる をプレスすると、「このアプリの使いかた」が表示されます。[次回以降も表示する]をプレスしてチェックを外し **閉じる** をプレスすると、次回起動時には「このアプリの使いかた」は表示されず、「使いかたガイド」のトップ画面が表示されるようになります。



機能ごとにまとめた目次から機能を検索します。

50音順に並んだ機能名から検索します。

キーワードを入力して関連する機能の一覧を表示させ、その一覧から検索します。

ブックマークに登録した項目から検索します。
よく使う機能などのページをブックマークしておく、簡単に表示させることができます。

「使いかたガイド」の画面の見かたや操作方法を説明しています。

サイトにアクセスして「使いかたガイド」のバージョンをチェックし、更新されている場合にはダウンロードします。

いずれかの検索方法で調べたい機能を表示させる

機能・操作の説明画面の見かたについては、本書p.56 「「使いかたガイド」の機能・操作の説明画面の見かた」をご覧ください。

確認が終了したら **⏮** ボタンを押す

待受画面に戻ります。

他にもこんな機能があります

本機には、本書では紹介しきれない機能が満載です。その一部を紹介します。



電話の便利な機能

応答保留

電話をかけてきた相手に現在電話に出られないことを伝えるメッセージを流します。

伝言メモ

かかってきた電話に出られないとき、相手の伝言を録音します。

はっきりボイス

電話中に周りの騒音を感知すると、音域ごとに相手の聞こえにくい声を強調して聞き取りやすくします。

ぴったりボイス

はっきりボイスが動作している電話中には、揺れや移動状況(歩行中、走行中)などから現在の行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調整します。

ゆっくりボイス

電話中に、音のない区間を利用して相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。

あわせるボイス

あらかじめ自分の年齢を入力しておく、年齢に合わせて通話中の音を聞き取りやすくします。

響カット

声の響く場所等で残響音を抑え、相手に聞き取りやすくします。



安心して本機を使う

端末の暗証番号

携帯電話には、利用時に端末の暗証番号の入力が必要とする機能があります。お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で変更することができます。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要となる番号です。ご契約時に任意の番号を設定しています。

PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。PINコードは、ドコモminiUIMカードを取り付けたり、携帯電話の電源を入れたりする際、使用者確認のために使います。ご契約時には「0000」が設定されています。



音声読み上げと音声による操作

音声読み上げの設定

シンプルメニューにして、らくらくタッチの設定が[プレス確定／振動標準]または[プレス確定／振動強]になっているときに使用できる機能です。

表示中の機能の説明やメールの内容、電話帳などを音声で読み上げるように設定することができます。読み上げる声質(女性・男性)を選んだり、読み上げる速さや音量を選んだりすることもできます。

また、[音声読み上げに対応している設定項目]で、音声読み上げに対応した機能の設定を行うことができます。

しゃべってコンシェル

「調べたいこと」や「やりたいこと」などを本機に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、サービスや端末機能の中から最適な回答を画面に表示します。



ドコモのネットワークサービス

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるときや電源が入っていないときなどに電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたことを通話中着信音でお知らせし、現在の電話を保留にして新しい電話に出ることができるようにするサービスです。

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるときや電源が入っていないときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話の着信を拒否するサービスです。設定後、相手にはガイダンスが流れます。

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない電話に対して番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。



メールやインターネットを使いこなす

SMS

携帯電話番号を宛先にして、文字メッセージを送信したり、受信したりすることができます。海外にいる相手とやり取りすることもできます。

緊急速報 「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

インターネット

インターネットに接続してブラウザ(Webサイトを閲覧するためのアプリケーション)を利用すると、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧することができます。

ブックマーク

一度見たサイトを登録しておくことで、同じページをすばやく表示させることができます。



通信機能を使う

Bluetooth[®]通信

本機とBluetooth機器(パソコンやその周辺機器など)を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

Wi-Fi

本機のWi-Fi機能を利用して、自宅や公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

赤外線通信

赤外線通信機能のある他の携帯電話などと電話帳、メール、写真などのデータを送受信します。

地図／GPS機能

今いる場所を確認して周辺情報を調べたり、誰かに知らせたりすることができます。



その他の便利な機能

microSDカード

写真やビデオ、音声などをたくさん保存することができます。また、電話帳やメールなどのデータをバックアップデータとして一括で保存することもできます。

ラジオ

FM / AM放送を楽しむことができます。

目覚まし

目覚まし時計として使います。

スケジュール

行事や用件などを登録して、必要なときに確認します。予定の日時になると音声で通知するように設定することもできます。

電卓

電卓として使います。



その他の楽しい機能

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機に本機をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。

さらに、読み取り機に本機をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。

なお、本機ではおサイフケータイサービスの一部をご利用になれません。本機でご利用になれるサービスについては、サービス一覧で確認することができます。

サービス一覧については、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「おサイフケータイの利用設定」をご覧ください。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのお勧めするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

歩数計 ～からだライフ～

歩数計など本機に搭載された機能を使って、活動量や睡眠を楽しく管理する健康支援サービスです。

こんなときはこうしよう！Q&A

お客様から寄せられることが多い質問にお答えしました。
本機をご使用いただく上で、困ったときには参考にしてください。



Q 電源が入りません。どうすればいいですか？

- A 電池パックが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。正しく取り付けられていても電源が入らない場合には、電池切れの可能性あります。充電してから、電源を入れ直してください。

Q 充電してもすぐに電池がなくなってしまう。 どうすればいいですか？

- A 電波が圏外になっている状態で、本機を長時間放置していませんか。本機は圏外でも常に電波状態をチェックし、使用できる電波を探しているため、電波状態がよいときよりも電池を消耗します。
- また、本機に取り付けている電池パックは消耗品です。そのため、充電を繰り返すたびに1回の使用時間は少しずつ短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分以下になったら、電池パックを交換してください。
- いらなくなった電池パックは端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなどの窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

Q 操作中・充電中に本機が熱くなります。大丈夫でしょうか？

- A 操作中や充電中、充電しながら電話やテレビの視聴などを長時間行った場合には、本機や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

Q 電話をかけましたが、話中音(プープー音)が流れてつながりません。相手が話中であること以外に原因はありますか？

- A 画面に圏外と表示されていませんか。また、市外局番を入力せずに電話をかけたり、「ツー」という発信音を聞かずに急いで電話番号を入力した場合にも話中音が流れてつながらないことがあります。

Q 通話中の相手の声が途切れそうだととても聞きづらいときはどうすればいいですか？

A 相手の声が途切れそうになる原因は、主に2とおり考えられます。

● 自分がいるところの電波状況が悪い場合

ディスプレイを見て電波の受信状態を確認しましょう。受信状態が悪い場合には、よいところに移動して電話をかけ直しましょう。

● 相手がいるところの電波状況が悪い場合

自分がいるところの電波の受信状態が悪くない場合には、相手がいるところの受信状態が悪いことが考えられます。相手に受信状態を確認してもらい、悪い場合には移動して、電話をかけ直してもらいましょう。

Q 電話に出られないときに着信音が鳴ってしまいました。どうやって着信音を止めたらいいですか？

A [着信音を消す]をプレスするか \square ボタンを押すと、着信音が止まります。あるいは、相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直してください。」というガイダンスを流す(応答保留)には、次の操作を行います。

● 標準メニューの場合

着信中に \square → [応答保留] をプレスする

● シンプルメニューの場合

着信中に \square → [応答保留] をプレスする

応答保留の間は、電話に出られる状態になったときに[電話に出る]をプレスすると、電話に出ることができます。

また、相手の用件を録音するには、次の操作を行います。

● 標準メニューの場合

着信中に \square → [伝言メモ] をプレスする

● シンプルメニューの場合

着信中に \square → [伝言メモ] をプレスする

Q 着信音が鳴りません。なぜでしょう？

A まず、マナーモードや公共モード(ドライブモード)が起動していないことを確認してください。マナーモードや公共モード(ドライブモード)については、本書p.17「本機から鳴る音を消そう」をご覧ください。


それ以外にも呼出音量が[消音]になっている、機内モードを設定している、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間が「0秒」に設定されていることが考えられます。

詳しくは本機に搭載されている「使いかたガイド」の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

Q 暗証番号を忘れてしまいました。どうすればいいですか？

A 暗証番号は確認することができません。契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)や本機、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口にお持ちいただければ再登録することができます。
携帯電話に保存している情報を守るために、暗証番号はとても大切な役割を持っています。忘れないようにメモを取ることをおすすめします。

Q しばらく操作しなかったら、画面が真っ暗になってしまいました。どうすればいいですか？

A 本機は一定時間操作しないでいると画面が消灯します(スリープモード)。
Ⓜボタンまたは  ボタンを押すとスリープモードが解除され、トップ画面が表示されます。

Q メールが受信できません。どうすればいいですか？

A メールサーバーに届いたメールは、すぐにお客様の端末に送信されるしくみになっています。
新着メールを自動で受信するように設定されているかどうかを確認してください。
新着メールを自動で受信するように設定されているかどうかを確認するには、本機に搭載されている「使いかたガイド」の「メールの設定」をご覧ください。
新着メールを自動で受信するように設定されている場合、メールが受信できない原因は主に2とおり考えられます。

●電源が入っていないとき


●圏外にいるとき

受信できなかったメールはメールサーバーに保管され、再送されます。
受信できなかった場合には、次の操作で問い合わせをします。

●標準メニューの場合

ホーム画面で[メール]→[新着問合せ]

●シンプルメニューの場合

待受画面で  →[メールがあるか問い合わせる]

Q メールで送られてきた写真を保存することはできますか？

A メールで送られてきた写真は、受信メールの詳細画面で写真のファイル名をプレス→[保存する]をプレス→[決定]をプレスすると、保存することができます。保存した写真を見る方法は、撮影した写真を見る方法と同じです。

Q 本機の調子が悪くなってしまいました。どうすればいいですか？

A 本機に搭載されている「使いかたガイド」の「故障かな？と思ったら」を確認してください。いつもと違う動きをしても、故障ではなかったり、自分自身で直せたりする状態かもしれません。それでも直らなかった場合には、ドコモショップなどの窓口にお持ちください。修理期間中は代替品をお貸ししますので、その期間も携帯電話を使用することができます。







Handwriting practice lines consisting of multiple sets of three horizontal dotted lines.





Handwriting practice area with 10 sets of horizontal dotted lines.





Handwriting practice lines for the character 'メ'.

Each row consists of three horizontal lines: a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line. There are 10 such rows provided for practice.





Handwriting practice lines consisting of multiple sets of three horizontal dotted lines for tracing and writing practice.

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから dメニュー ⇒ 「お客様サポートへ」 ⇒ 「各種お申込・お手続き」 **パケット通信料無料**

パソコンから My docomo (<http://www.mydocomo.com/>) ⇒ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。

※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。

※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID / パスワード」が必要となります。

※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID / パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、かんたん操作ガイド裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。

※ ご契約内容によってはご利用にならない場合があります。

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用にならない場合があります。

メモ



本機に登録した内容は忘れないようにメモしておきましょう。

● ワンタッチダイヤルの 1 ～ 3

名前：

1

電話番号：

メールアドレス：

名前：

2

電話番号：

メールアドレス：

名前：

3


電話番号：

メールアドレス：



総合お問い合わせ先
(らくらくホンセンター)

■携帯電話／一般電話共通

(らくらく) (みんな)
 **0120-6969-37**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外での紛失、盗難、精算などについて
(ドコモ インフォメーションセンター) (24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** (無料)

※一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-12Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります
(「+」は「0」キーを1秒以上タッチします)。

●一般電話などからの場合(ユニバーサルナンバー)

ユニバーサルナンバー用
国際識別番号 **-8000120-0151***

※滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

海外での故障について
(ネットワークオペレーションセンター) (24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** (無料)

※一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-12Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります
(「+」は「0」キーを1秒以上タッチします)。

●一般電話などからの場合(ユニバーサルナンバー)

ユニバーサルナンバー用
国際識別番号 **-8005931-8600***

※滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。



ドコモ「あんしん」ミッション

みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 富士通株式会社

